

資 料 編

資料編

- 資料 1 「大阪府消費者教育学生リーダー養成講座」受講生募集ちらし
- 資料 2 大阪府消費者教育学生リーダー養成講座修了申請フォーム (Web 版)
- 資料 3 大阪府消費者教育学生リーダー認定要件チェックフォーム (Web 版)
- 資料 4 大阪府消費者教育学生リーダー会登録用フォーム (Web 版)
- 資料 5 「大阪府消費者教育学生リーダー養成講座」修了証
- 資料 6 大阪府消費者教育学生リーダー養成講座 (Web) の仕組みとホームページ上の Web 講座
- 資料 7 消費者教育啓発 Web ゲームの仕組み
- 資料 8 関西 SDGs プラットフォームへの講座募集掲載
- 資料 9 消費者庁「消費者教育ポータルサイト」への講座募集掲載
- 資料 10 ボランティア募集サイト activo への講座募集掲載
- 資料 11 個人の肖像権使用についての承諾書
- 資料 12 和歌山大学後期集中授業「消費者市民と社会」カリキュラム
- 資料 13 消費者教育啓発 Web ゲーム画面
- 資料 14 大阪府消費者教育学生リーダー会議次第
- 資料 15 大阪府消費者フェア 2020 ちらし
- 資料 16 全国消費者フォーラム演題目次
- 資料 17 企業×学生交流会次第 (第 1 回～第 2 回)
- 資料 18 大阪府消費者教育学生リーダー養成講座アンケート結果
- 資料 19 大阪府消費者教育学生リーダー養成講座アンケート結果
(5 年間集計)
- 資料 20 交流会アンケートフォーム (学生用、企業用)
- 資料 21 交流会アンケート結果 (第 1 回、第 2 回)
- 資料 22 交流会アンケート結果 (5 年間集計)

資料 1

「大阪府消費者教育学生リーダー養成講座」受講生募集ちらし

「大学生期における消費者教育推進事業」

産学協働人材育成機構AICEを活用した大学生による消費者教育推進の取組
～ニューノーマル時代における学生リーダー会の活動継続をめざして～



学生リーダー大募集

大阪府消費者教育リーダー学生養成講座

リーダー会活動では**企業との交流**も！

養成講座で**知識・スキル**をゲット！

企業理解を深めるチャンス！

SDGsに向かう資格と活動！

学生リーダーとして**普及啓発ボランティア企画&活動**を！

大阪府消費者教育学生リーダーとして**認定**！！

消費者問題って、人ゴトだと思いませんか？
地球はモノで溢れ、環境問題も深刻です。
私たち一人ひとりみんな消費者です。
一人ひとりが自分が「何をかうか」、「何をかうか」によって
社会や地球環境は大きく変わります！
一人ひとりの消費行動は小さいかもしれませんが。
でも、大勢集まると大きな社会問題を解決する力にもなるのです。
ちょっと立ち止まって、
「消費」について一緒に考えてみませんか？!

対象 大学生

STEP1
消費者教育
学生リーダー
養成講座を受講

STEP2
学生リーダー会で
ボランティア活動

STEP3
大阪府消費者教育
学生リーダーに認定

**web開催
参加費無料!**



12 つくる責任
つかう責任



募集定員・応募締切

定員30名 (先着順) 応募締切 令和2年11月27日(金)

応募される方はこちら

氏名、所属大学、学年、連絡先 (email、携帯番号) をメールに記載し下記メールアドレスもしくはこちらのサイトでご応募ください。 <http://www.aice-p.com/consumer/course.html>
電話、FAX、可。

**ご興味がある方は
お気軽にご連絡ください**

産学協働人材育成機構AICE事務局
堺市北区長曾根町130-42 さかい新事業創造センター100号
有限会社ダブル・ワークス内 TEL 072-240-7071 FAX 072-240-7081
URL <http://www.aice-p.com/consumer/>
E-MAIL consumer@aice-p.com ※障がい等により配慮を希望される方は事前にご相談ください。



あなたも消費者教育 学生リーダーになって 活躍してみませんか？

大阪府では、消費者として自立した判断能力を持ち、社会に出た時には消費者市民社会の実現に向け積極的に活動を行うことができる力を持つ大学生を育成するための事業を行っています。

「消費者市民社会」とは、一人ひとりが自らの消費行動が生産に関わる人々や地球環境に影響を与えるということを考えて生活し、未来の子どもたちや社会のために公正でよりよい発展をもたらすよう、積極的に参画する社会のことです。あなたも消費者教育学生リーダーとなって、大阪のそして地球の未来づくりに力を発揮してみませんか。

STEP 1

消費者教育学生リーダー養成講座

基礎講座・応用講座・実践講座 I・II

開講日：令和2年10月15日（木）～12月18日（金）

会場：web開催 <http://www.aice-p.com/consumer/index.html> (大阪府消費者教育推進事業)

◆基礎講座 (web講座)

- 開講式
- 消費者教育の基礎的な知識を学び、自分の問題として整理・理解できるようにします

◆応用講座 (web講座)

- 消費者教育を行うために必要な知識・スキルを学び、実践内容を具体的に考えます

◆実践講座 I (web講座)

- 企業や地域での消費者教育活動を学ぶことで、多様な企業や社会の理解を深めます
- 消費者教育に関する「企業×学生交流会」の企画を考えます

◆実践講座 II (web講座+オンタイムZoom)

- 企業×学生交流会 (Zoomでのオンタイム) 第1回12月5日 (土) 第2回：12月13日 (日)
今回はテーマを変えて実施します。
- 振り返り。消費者教育学生リーダーになるために何をしたいかを考えます
- 修了式



大阪府消費者教育学生リーダー会活動

http://www.aice-p.com/consumer/student_leader/



○ボランティア活動

啓発教材のシステム開発&コンテンツづくり、イベントでの消費者教育等でボランティア活動を行います。

○交流会

大学生と消費者教育を行っている企業等との交流会を実施します。「企業×学生交流会」を企画・主催。

第1回 令和2年12月5日(土) 第2回 令和2年12月13日(日)

Zoomにて開催!

STEP 2

STEP 3

大阪府消費者教育学生リーダー認定 (大阪府消費生活センター認定)

○認定要件

- ①消費者教育学生リーダー養成講座の全課程を修了
- ②消費者教育ボランティア活動に1回以上参加
- ③大阪府消費者教育学生リーダー会に登録

資料 2

大阪府消費者教育学生リーダー養成講座修了申請フォーム

(Web 版)

令和2年度 大阪府消費者教育学生リーダー学生リーダー養成講座 修了認定申請フォーム

*必須

受講及び確認テストが完了し、提出物を提出したすべてにチェックしてください。*

- 基礎講座
 応用講座
 実践講座I
 実践講座II

氏名*

回答を入力

所属大学 学部・学科 学年*

回答を入力

以下の事後アンケートにご協力ください。

質問1) 本講座のことは、どのようにして知りましたか? *

- チラシをみて
 友達からの口コミで
 先生や大学関係者から
 消費者教育学生リーダーに認定された方から
 その他

質問2) あなたの受講動機は? (該当するものすべてにチェックを入れてください。)*

- 講義内容に興味を持ったから
 自己啓発によいから
 資格認定が取得できるから
 消費者教育のことを知りたかったから
 消費者教育のスキルを身につけたいから
 学生リーダー会活動に興味をもったから
 学生リーダー会活動に参加したいから
 他大学の先生の講義を聴けるから
 大学以外の社会人講師の講義を聴けるから
 他大学の学生や社会人と知り合うチャンスだから
 ボランティア活動がしたいから
 その他:



質問3) 受講してみても良かったことは？(該当するものすべてチェックを入れてください。)*

- 普段の大学の講義とは異なる体験をした
- 消費者教育の重要性が理解できた
- 消費者教育学生リーダー認定を得ることができた
- 消費者教育のボランティア活動を行うことができた
- 他大学の先生の講義を聴けた
- 大学以外の社会人講師の講義を聴けた
- 消費者教育学生リーダーとしての自覚ができ、普及啓発活動をしたと思った
- 他大学の学生や先生、大学以外の社会人等と知り合い、交友関係が広がった
- 他大学の学生と同じチームで活動できた
- その他:

受講してよかったことで、上記以外にあれば、入力してください。

回答を入力

質問4) 受講してみても不満だった点は？(具体的に)

回答を入力

質問5) 消費者教育学生リーダーによる消費者教育普及啓発活動についてどう思っていますか？(具体的に)

回答を入力

質問6) 消費者トラブルに巻き込まれずに、安全・安心な消費生活を送る方法がわかりましたか。*

- よくわかった
- わかった
- あまりわからなかった
- まったくわからなかった
- その他:

質問7) 消費者が個々の消費者の特性及び消費生活の多様性を相互に尊重しつつ、自らの消費生活に関する行動が現在及び将来の世代にわたって内外の社会経済情勢及び地球環境に影響を及ぼし得るものであることを自覚して、公正かつ持続可能な社会の形成に積極的に参画する「消費者市民社会」の形成が求められています。今回の講座を受講し、消費者市民社会の形成のために、どのような行動をとるべきかわかりましたか。*

- よくわかった
- わかった
- あまりわからなかった
- まったくわからなかった
- その他:

質問8) セミナーの開講期間として適当なものは？*

- 平日の夜の開講
- 夏休みなどに集中して開講する
- その他:



質問9) 今回の研修や消費者教育学生リーダーの活動について自由な意見を入力してください。

回答を入力

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

講座の修了が確認できましたら、本講座の修了認定証を発行いたします。修了認定証は、ご登録いただいた住所あてに郵送いたします。申請ありがとうございます。

送信

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコメントは Google が作成または承認したものではありません。不正行為の報告・利用規約・プライバシーポリシー

Google フォーム



資料 3

大阪府消費者教育学生リーダー認定要件チェックフォーム

(Web 版)

令和2年度 大阪府消費者教育学生リーダー 認定要件チェックフォーム

*必須

所属大学 学部・学科 学年 *

回答を入力

氏名 (よみがな) *

回答を入力

受講年度 (複数年度ある場合はすべて記入) *

- 令和2年度
- 令和元年度
- 平成30年度
- 平成29年度
- それ以前

1. 認定要件チェック

1-1) 「大阪府消費者教育学生リーダー養成講座」基礎講座を修了した *

- はい
- いいえ

1-2) 「大阪府消費者教育学生リーダー養成講座」応用講座を修了した *

- はい
- いいえ

1-3) 「大阪府消費者教育学生リーダー養成講座」実践講座Iを修了した *

- はい
- いいえ

1-4) 「大阪府消費者教育学生リーダー養成講座」実践講座IIを修了した *

- はい
- いいえ



1-5) 以下のいずれかのボランティア活動に1つ以上参加した（実践講座で参加したイベントや課題も含む）該当するものはすべてチェックしてください。*

- 消費者教育啓発プログラムシステムのジレンマ問題を10セット以上作成提出
- 企業×学生交流会に参加
- 消費者教育に関するイベント等の企画・運営に参加
- 消費者教育のファシリテーターとして参加
- 幼少中高校、大学、市民を対象に消費者教育の企画・運営に参加
- 消費者教育スキルアップ講座の企画・運営に参加
- 消費者教育に関する教材、PRパンフレット等の企画・政策に参加
- 大学生に向けた被害にあわなないための消費者教育に参加
- その他

2. 大阪府消費者教育学生ネットワーク「大阪府消費者教育学生リーダー会」への参加

「大阪府消費者教育学生リーダー会」に登録していますか？*

- はい
- いいえ

3. 「大阪府消費者教育学生リーダー」への就任について

大阪府消費者教育学生リーダーとして今後の大阪府の消費者教育の普及啓発に協力しますか？*

- はい
- いいえ

登録した情報については、大阪府に提供することに同意します*

- はい
- いいえ

大阪府消費者教育学生リーダー認定への申請ありがとうございます。上記要件が満たされていた場合、大阪府消費生活センターから資格が認定され、認定証及び認定カードが授与されます。

送信

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。不正行為の報告・利用規約・プライバシーポリシー

Google フォーム

資料 4

大阪府消費者教育学生リーダー会登録用フォーム (Web 版)

令和2年度 大阪府消費者教育学生リーダー 登録会登録フォーム

***必須**

消費者教育学生リーダーに登録*

する

しない

氏名 (よみがな) *

回答を入力

所属大学 学部・学科 学年 *

回答を入力

連絡先 (〒住所) *

回答を入力

電話 *

回答を入力

Eメール *

回答を入力

リーダー会活動に参加 *

する

しない

卒業後もリーダー会活動に参加 *

する

しない

講座やボランティア活動やイベントなどの情報を提供してもよいか *

はい

いいえ

リーダー会ラインへの登録 (下記QRコードでライン登録) →登録後、「大学名」
「氏名」 「リーダー会参加」 を送信してください。



送信

下記、記載の個人の肖像権使用について、該当する箇所にチェックを記入してください。*

承認する

承認しない

承諾日*

日付

yyyy/mm/dd

個人の肖像権使用についての承諾書

大阪府消費者教育学生リーダー会及び大阪府消費者教育関連事業に参加するにあたり、活動に伴う写真や映像を撮影する場合があります。撮影された一部は、下記の内容においてのみ使用され、明記のない案件での使用は一切いたしません。

ついでには、個人の肖像権について下記内容を確認の上、承諾の可否をお知らせ下さい。尚、下記内容に承諾いただけない場合でも、大阪府消費者教育学生リーダー会及び大阪府消費者教育関連事業への参加には一切支障はありません。

個人の肖像権の使用について

- ①大阪府消費者教育学生リーダー会及び大阪府消費者教育関連事業を広報するための制作物（ビデオ、ホームページ、報告書、その他消費者教育に関する冊子やグッズ等）の写真・映像として使用。
- ②県道機関各種での写真・映像掲載（冊子・新聞・テレビでの写真記事・映像）掲載・放送用として使用。
- ③大阪府消費者教育学生リーダー会及び大阪府消費者教育関連事業において連携協力している団体等での写真・映像掲載（冊子・新聞・テレビでの写真記事・映像）掲載・放送用として使用。

大阪府消費者教育学生リーダー会へのご登録ありがとうございました。

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。不正行為の報告・利用規約・プライバシーポリシー

Google フォーム

資料5

「大阪府消費者教育学生リーダー養成講座」修了証

修了証

殿

あなたは令和2年度大阪府消費生活センター「大学生期における消費者教育推進事業」の中で「大阪府消費者教育学生リーダー養成講座」において定めた課程を修了したことを証します

令和2年12月18日

産学協働人材育成機構 AICE

代表 真銅 正宏

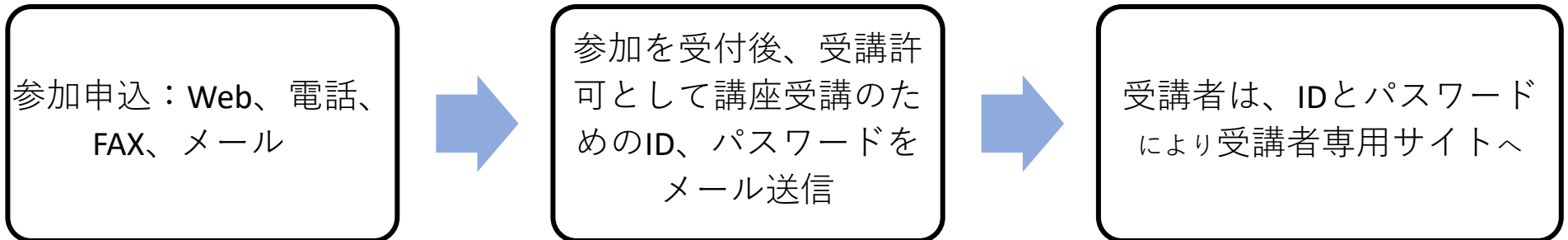


資料 6

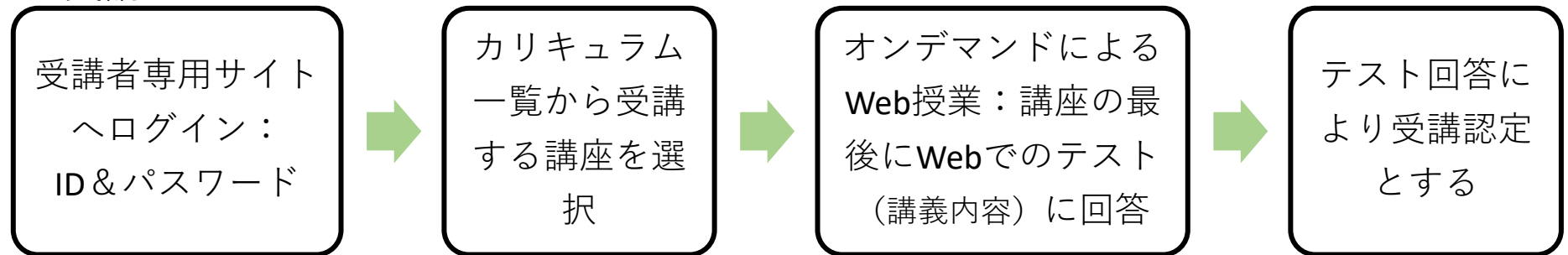
大阪府消費者教育学生リーダー養成講座 (Web) の仕組みと
ホームページ上の Web 講座

Web受講システムの仕組み

■受講申込

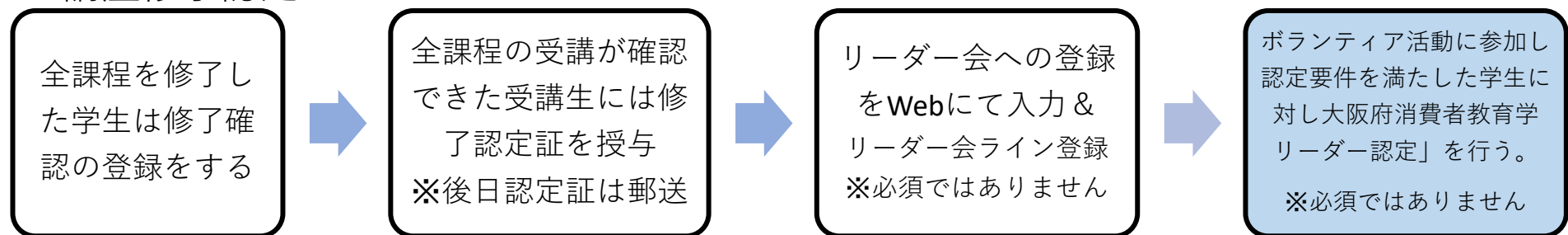


■受講



※講座は動画によるオンデマンド方式
※交流会はZoomによるオンタイム
※授業の最後にWebアンケート

■講座修了認定



大学生による消費者教育推進の取組

消費者教育リーダー養成講座（Web講座）

大阪府消費者教育学生リーダー養成講座にご応募いただきありがとうございます。

本講座は、消費者として自立した自主的・合理的な判断、行動のできる知識を獲得し、消費者市民社会の実現に向け活動を行うことができる実践力を身につけることを企画して、消費者市民社会の一員であることを自覚し、消費者教育の普及・啓発の必要性を十分に理解した人材を養成し、大阪の消費者教育の新たな担い手リーダーとして輩出することを目的としています。

本講座を受講して、大阪の消費者教育の新たな担い手リーダーとして活躍されることを願っています。



受講にあたって

- **new!** 12限目「振り返り」及び13限目「修了式」の開始時間が、17時から**15時に変更**になりましたのでご注意ください。
- 本講座は、基礎講座、応用講座、実践講座Ⅰ、実践講座Ⅱの4つの講座で構成されています。
- 基礎講座→応用講座→実践講座Ⅰ→実践講座Ⅱの順に受講してください。（受講の順序が左記の順でなくても受講認定します。）
- 講座は、動画によるオンデマンド方式と、Zoomによるオンタイム方式（11限目、12・13限目）の2つがあります。
- **11限目「企業×学生交流会」は、12月5日（土）と12月13日（日）の2日間を設定しています。両方受講しても、どちらか1日を受講しても受講認定します。企業の方も多く参加するワークショップです。積極的な参加を期待します。**
- **「企業×学生交流会」に参加するには、「参加申込」が必要です。**交流会ではグループに分かれて企業と学生が共に議論します。各国テーマが3つ用意されていますので、参加申込時に、第1希望から第3希望まで選んでください。**参加申込は11限目の講座の欄にあります。**
- オンデマンド方式による受講には、動画を受講した後に、確認テストが用意されています。講義の内容について2問から3問の簡単な問いが用意されています。この回答をもって受講認定を行います。
- すべて受講を終えた人は、「修了申請」を行ってください。本ページの最後に「修了申請フォーム」のバナーがありますので、そこをクリックして申請を行ってください。
- 修了認定の申請はこちらから。
- 申請された人で受講修了が確認された人は、後日、講座修了認定証を授与します。

参考情報について

- **new!** 「「エシカル消費」と「食品ロス削減」で未来を変える」シンポジウムが開催されます。本講座で学んだSDGsの振り返りの参考になるかと思います。
開催日：2020年12月17日（木） オンラインで開催されます。

基礎講座

開講式 8分	1限目 24分	2限目 107分	3限目 33分
<p>開講式挨拶</p> <p>開講式挨拶</p> <p>開講式</p> <p>松原、坂田</p>	<p>オリエンテーション</p> <p>オリエンテーション</p> <p>同誌</p> <p>確認テスト</p>	<p>消費者教育の基礎理解①</p> <p>消費者教育の基礎理解</p> <p>同誌</p> <p>確認テスト</p>	<p>活動を通じた消費者教育に関する手法について①</p> <p>活動を通じた消費者教育に関する手法について①</p> <p>同誌</p> <p>確認テスト</p>

応用講座

4限目 (1) 32分	4限目 (2) 28分	4限目 (3) 17分	5限目 (1) 4分
<p>消費者教育の基礎理解② ～企業活動からみる (1) 企業活動からみる (1) 企業活動からみる (1)</p> <p>企業の消費者教育活動について</p> <p>同誌 ※ほかにもアンケートあり</p> <p>確認テスト</p> <p>アンケート</p>	<p>消費者教育の基礎理解② ～企業活動からみる (2) ACAPの活動紹介</p> <p>ACAPの活動紹介</p> <p>同誌</p> <p>確認テスト</p>	<p>消費者教育の基礎理解② ～企業活動からみる (3) NACSの活動紹介</p> <p>NACSの活動紹介</p> <p>同誌</p> <p>確認テスト</p>	<p>消費者教育のいろいろな手法の紹介 (1) 学生リーダー会について</p> <p>学生リーダー会について</p> <p>同誌</p> <p>確認テスト</p>

<p>5限目 (2) 6分</p> <p>消費者教育のいろいろな手法の紹介 (2) 大阪府消費者フェアでの活動</p> <p>同僚 拓洋</p> <p>確認テスト</p>	<p>5限目 (3) 4分</p> <p>消費者教育のいろいろな手法の紹介 (3) 親子イベントでの活動</p> <p>同僚 中嶋</p> <p>確認テスト</p>	<p>5限目 (4) 3分</p> <p>消費者教育のいろいろな手法の紹介 (4) 企業・学生交流会による啓発</p> <p>同僚 小島</p> <p>確認テスト</p>	<p>5限目 (5) 3分</p> <p>消費者教育のいろいろな手法の紹介 (5) 大学卒業後の啓発活動</p> <p>同僚 拓洋</p> <p>確認テスト</p>
<p>5限目 (6) 6分</p> <p>消費者教育のいろいろな手法の紹介 (6) ホームページによる広報</p> <p>同僚 拓洋</p> <p>確認テスト</p>	<p>6限目 34分</p> <p>活動を通じた消費者教育に関する手法についての演習</p> <p>同僚 拓洋</p> <p>課題提出</p>		

実践講座I

<p>7限目 24分</p> <p>ボランティア活動論</p> <p>同僚 拓洋</p> <p>ボランティア活動論</p> <p>同僚</p> <p>確認テスト</p>	<p>8限目 57分</p> <p>企画づくりを考える</p> <p>同僚 大車</p> <p>企画づくりを考える</p> <p>大車</p> <p>確認テスト</p>	<p>9限目 17分</p> <p>消費者教育啓発プログラム企画を考える①</p> <p>同僚 拓洋</p> <p>消費者教育啓発プログラム企画を考える②</p> <p>同僚</p> <p>課題用データのダウンロード</p> <p>課題提出フォーム</p>
--	--	--

実践講座II

<p>10限目 (1) 7分</p> <p>大阪府の消費者行政</p> <p>同僚 五井</p> <p>大阪府の消費者行政</p> <p>五井</p> <p>確認テスト</p>	<p>10限目 (2) 35分</p> <p>令和元年度大阪府及び市町村の消費生活相談の概況</p> <p>同僚 中嶋</p> <p>令和元年度大阪府及び市内市町村の消費生活相談の概況</p> <p>中嶋</p> <p>確認テスト</p>	<p>10限目 (3) 10分</p> <p>特定非営利活動法人消費者支援機構財団(KC'S)の活動紹介</p> <p>同僚 元山</p> <p>特定非営利活動法人消費者支援機構財団(KC'S)の活動</p> <p>元山</p> <p>確認テスト</p>	<p>11限目 (1)</p> <p>企業×学生交流会～ワークショップ編</p> <p>同僚 拓洋</p> <p>企業×学生交流会①</p> <p>テーマ:【衣】【食】【住】 2020年12月9日(土)13:10-14:55 ※①、②どちらか一方の受講も可</p> <p>リーダー名</p> <p>第1回交流会 次第</p> <p>zoom URL</p> <p>事後アンケート</p> <p>参加申込</p>
<p>11限目 (2)</p> <p>企業×学生交流会～ワークショップ編</p> <p>同僚 拓洋</p> <p>企業×学生交流会②</p> <p>テーマ:【IT】【生活環境】【観光】 2020年12月13日(日)13:10-14:55 ※①、②どちらか一方の受講も可</p> <p>リーダー名</p> <p>第2回交流会 次第</p> <p>zoom URL</p> <p>事後アンケート</p> <p>参加申込</p>	<p>12限目・13限目修了式</p> <p>振り返り消費者教育リーダーになるために</p> <p>同僚 拓洋</p> <p>振り返り/修了式 2020年12月13日(日) 15:00-16:00 ※開始時間が変更注意</p> <p>同僚</p> <p>zoom URL</p> <p>確認テスト</p>		

修了申請フォーム

資格認定申請&認定要件チェックフォーム

学生リーダー会登録フォーム

資料 7

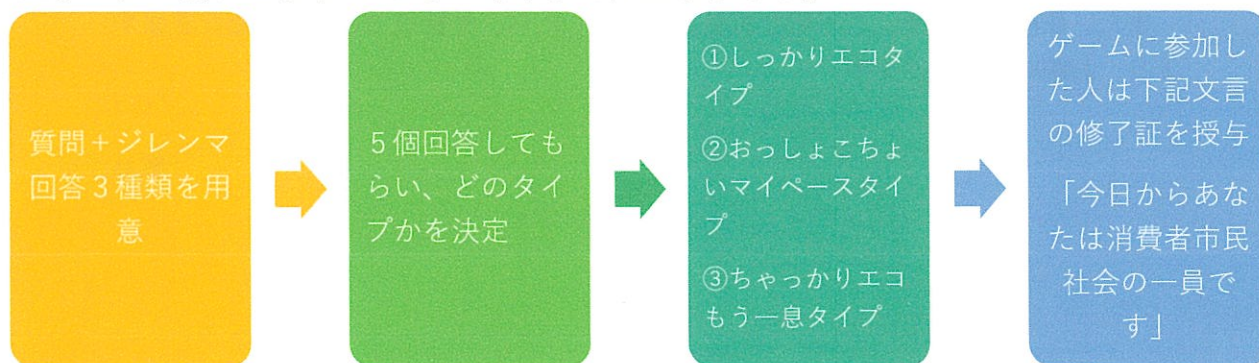
消費者教育啓発 Web ゲームの仕組み

システム開発スケジュール

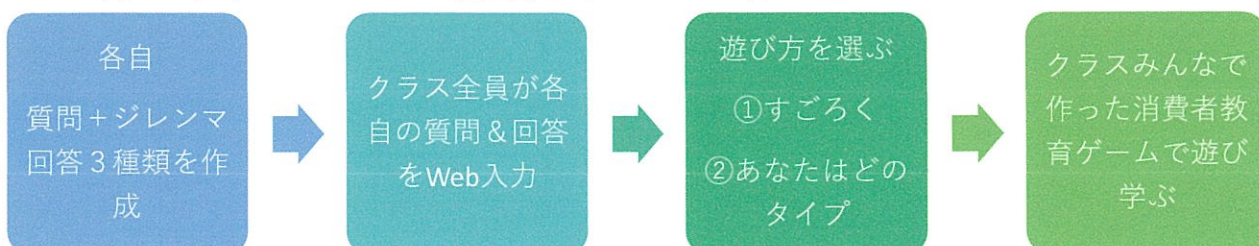
日程	内容	参加
9月	システム設計	W.WORKS
9月1日	リーダー会システム会議①	リーダー会、難波
9月23日	リーダー会システム会議②	リーダー会、難波
10月18日	リーダー会システム会議③	リーダー会、岡崎先生、難波
10月28日	システム制作会社との打ち合わせ	システムグラフィ、難波
11月18日	リーダー会システム会議④	リーダー会、難波
11月24日	キャラクターデザイン打ち合わせ	帝塚山学院大学学生、佐藤先生、難波
12月	システムコンテンツ提供 (ボランティア活動)	リーダー会、受講生
12月中旬	システムからコンテンツ入力可能	リーダー会、受講生
1月15日	システム完成	
2月23日	システム公開	

Web配信消費者教育プログラムの仕組み

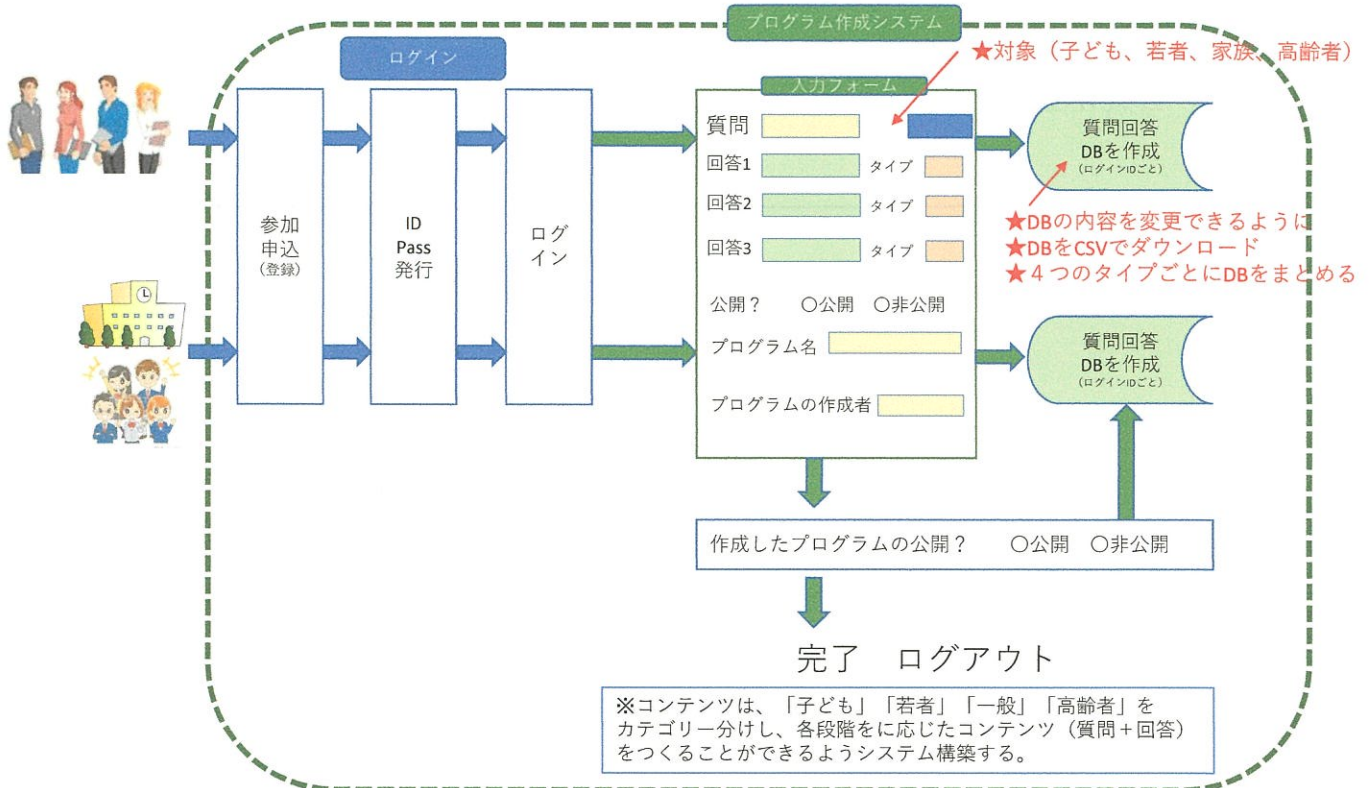
■リーダー会プログラム「その時あなたはどうする？」



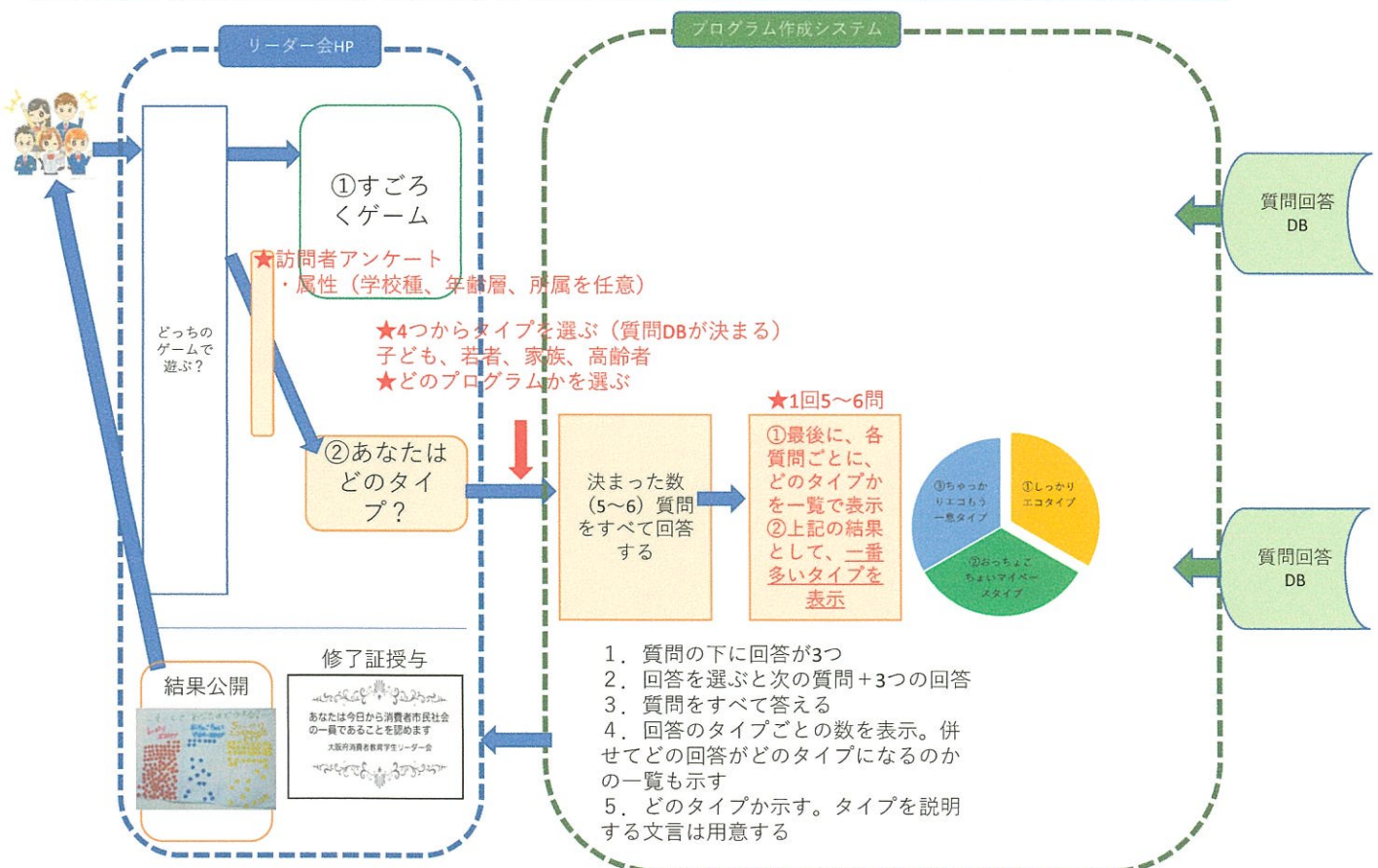
■小中高の授業プログラム：消費者教育ゲームを作って遊ぼう！



「コンテンツ作り」システムフロー



「作ったプログラムで遊ぼう」システムフロー



資料 8

関西 SDGs プラットフォームへの講座募集掲載

関西SDGsプラットフォーム

イベント・ニュース

トップページ > イベント・ニュース > イベント >

⑩ 【10月15日(木)～12月18日(金)】大阪府消費者教育学生リーダー養成講座

⑫ 【10月15日(木)～12月18日(金)】大阪府消費者教育学生リーダー養成講座

2020.10.14
大阪府では、消費者市民社会の実現に向け積極的に活動を行うことができる力を持つ大学生を育成する事業を推進しています。そこで、大学生を対象にした「大阪府消費者教育学生リーダー養成講座」を実施します。本講座では、消費者として自立した自主的・合理的な判断、行動のできる知識を獲得し、消費者市民社会の実現に向け活動を行うことができる実践力を身につけることを企図して、消費者市民社会の一員であることを自覚し、消費者教育の普及・啓発の必要性を十分に理解した人材を養成し、大阪の消費者教育の新たな担い手リーダーとして輩出します。本講座を修了し、認定要件を満たした人は、「大阪府消費者教育学生リーダー」の資格認定を受けることができます。

- イベント名：
大阪府消費者教育学生リーダー養成講座
- 主催・共催・後援等：
主催「大阪府消費生活センター」
- 日時：
令和2年10月15日（木）予定～12月18日（金）予定
- 場所：
大阪府消費生活センター委託事業「大学生期における消費者教育推進事業」ホームページ（<https://www.aice-p.com/consumer/index.html>）
- 定員：
30名

- 参加費：
無料

■プログラムの流れ：

本講座は、消費者教育・消費者市民社会の基本理念を講義で学ぶ「基礎講座」、消費者教育の手法について演習を通して学ぶ「応用講座」、消費者教育の担い手として実践すべきことを学ぶ「実践講座I・II」の3つの講座で構成されています。講座はすべてWebでの開催となります。

- 申込方法：
本事業のホームページから申し込むことができます。（<https://www.aice-p.com/consumer/course.html>）

- 応募締切：
令和2年11月27日（金）

- 関連Webページ：
本事業ホームページ（<https://www.aice-p.com/consumer/index.html>）

- 受講修了生が組織する「大阪府消費者教育学生リーダー会」ホームページ（https://www.aice-p.com/consumer/student_leader/）

- その他：
募集ちらし（<https://www.aice-p.com/consumer/file/course.pdf>）

- お問い合わせ：
産学協働人材育成機構AICE事務局
eメール：consumer@aice-p.com
電話：072-240-7071 FAX：072-240-7081

関西SDGsプラットフォーム

（お問い合わせ） 関西SDGsプラットフォーム事務局
（独立行政法人国際協力機構関西センター内）
〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2

資料 9

消費者庁「消費者教育ポータルサイト」への講座募集掲載

講座の入力確認

講座提供ID	A8E90CA1A080D001
都道府県	大阪
実施団体	産学協働人材育成機構AICE、大阪府消費生活センター
URL	https://www.aice-o.com/consumer/course.html
利用者の立場	学校で教える方 <input type="checkbox"/> 地域で教える方 <input checked="" type="checkbox"/>
連絡先	072-240-7071
コメント	大学生を対象にした「大阪府消費者学生リーダー養成講座」を実施します。本講座では、消費者として自立した自主的・合理的な判断、行動のできる知識を獲得し、消費者市民社会の実現に向けて活動を行うことができる実践力を身につけることを企図して、消費者市民社会の一員であることを自覚し、消費者教育の普及・啓発の必要性を十分に理解した人材を養成し、大阪の消費者教育の新たな担い手リーダーとして輩出します。本講座を修了し、認定要件を満たした人は、大阪府消費生活センターの「大阪府消費者教育学生リーダー」の資格認定を受けることができます。講座はすべてWeb講座。こちらはこちらからダウンロード。 https://www.aice-p.com/consumer/file/course.pdf
対応可能期間	令和2年11月27日（金）まで申込受付しています。
有料/無料	無料
教育分野	<input type="checkbox"/> 商品等の安全 <input type="checkbox"/> 生活の管理と契約 <input type="checkbox"/> 情報とメディア <input checked="" type="checkbox"/> 消費者市民社会の構築 その他：対象は大学生。
ご担当者名	難波 美都里
ご担当連絡先（電）	0722407071

教材の掲載
 取組の掲載
 講座の掲載
 講座の入カフォーム

話番(号)	
ご担当者連絡先（メールアドレス）	consumer@aice-p.com
掲載期限	2020/11/27

講座の提供

講座の編集

ポータルサイトの運営・構成等に関わるお問合せ

消費者庁 消費者教育推進課 【電話】 03-3507-9149

資料 10

ボランティア募集サイト **activo** への講座募集掲載

管理ページTOPへ

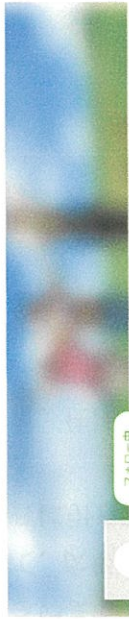
こちらには、産学協働人材育成機構AICEの講座

募集！

- 関西
- アルバイト(学生/パート)社会人、主婦
- 志望職種
- 希望活動期間(1年以上の長期)
- 開始時期

お気に入り追加

団体情報



産学協働人材育成機構AICE

法人格 任意団体

産学協働人材育成機構AICEのボランティア募集

産学協働人材育成機構AICEのボランティアを主として見ます

産学協働人材育成機構AICEの職員・バイト募集

産学協働人材育成機構AICEの職員・バイト求人をもっと見ます

お気に入り追加

お気に入り追加

関連ボランティア

管理ページTOPへ

こちらには、産学協働人材育成機構AICEの講座

募集！

- 関西
- アルバイト(学生/パート)社会人、主婦
- 志望職種
- 希望活動期間(1年以上の長期)
- 開始時期

お気に入り追加

基本内容

「大阪府消費者教育学生リーダー養成講座」受講生募集！資格も取れるよ！

産学協働人材育成機構AICEへの応募/お問い合わせ

お気に入り追加

お気に入り追加

お気に入り追加

注目ボランティア

メンター
「産学協働人材育成機構AICE」のメンターとして、産学協働人材育成機構AICEの活動に協力していただきます。

NPO法人アステック
「産学協働人材育成機構AICE」のメンターとして、産学協働人材育成機構AICEの活動に協力していただきます。

メモ
「産学協働人材育成機構AICE」のメンターとして、産学協働人材育成機構AICEの活動に協力していただきます。

注目アルバイト

産学協働人材育成機構AICE
「産学協働人材育成機構AICE」のメンターとして、産学協働人材育成機構AICEの活動に協力していただきます。

アンサンブル
「産学協働人材育成機構AICE」のメンターとして、産学協働人材育成機構AICEの活動に協力していただきます。

本講座は、消費者教育の普及・啓発の必要性を十分に認識した人材を養成し、大阪府消費者教育学生リーダーとして輩出します。認定条件を満たした人は大阪府の「大阪府消費者教育学生リーダー」資格認定。

活動テーマ	子ども・教育
開催場所	全国各地から募集・在宅可 大阪
必要経費	無料
開催日程	2020/10/15~12/18
募集対象	大学生
注目ポイント	消費者教育 SDGs 大阪府の消費者教育担い手リーダー育成
対象年齢/年齢	大学生・専門学校生
募集人数	30名

検索結果

条件で絞り込む

フリーワード

検索結果 11件中1-11を表示

種類

- 国内/海外ボランティア(73)
- 国内/海外インターンシップ(83)
- 海外ツアー/プログラム(69)
- 団体メンバー/継続ボランティア(524)
- イベント/講演会(140)
- プロボ/BO(9)
- 物産券付(8)

活動場所

- 全国から募集・在宅可も含める
- 大阪(160)

この条件で絞り込む

活動テーマ

- 国際(258)
- こども・教育(681)
- 震災・災害(2)
- 地域活性化・まちづくり(37)
- 環境・農業(125)
- 貧困・人権(131)
- 福祉・障がい・高齢者(165)
- スポーツ・アート・文化(123)
- その他(85)
- 医療・保健(16)
- 動物愛護(14)

対象年齢/身分

- 社会人(898)
- 大学生・専門学校生(1020)
- 高校生(464)
- 小中学生(153)
- シニア(364)

その他の条件で絞り込む

特徴

雰囲気

スキル

期間

頻度

プログラミンングの力で社会問題を解決しよう！学生エンジニアインターン募集！

国内ソーシャルセクターの人材・資金不足を解決するプラットフォームをつくり、関わる全ての人々を幸せに、「ミッション達成」に向けて一緒に挑戦するインターンシップメンバーを募集！



【緊急】新型コロナウイルス緊急支援にこ

UNHCRは新型コロナウイルスから難民を守るため、現地

行っています。

国連UNHCR協会



「大阪府消費者教育学生リーダー養成講座」受講生募集！資格も取れるよ！

産学協働人材育成機構ACE

大阪 全国から応募可

無料 2020/10/15-12/18

本講座は、消費者教育の普及・啓発の必要性を十分に理解した人材を養成し、大阪の消費者教育の新たな担い手リーダーとして輩出します。応募条件を満たした人は大阪府の「大阪府消費者教育学生リーダー」資格認定。



☆ 国内/海外ボランティア

☆ ミライコーチャRita

株式会社Rita

大阪

無料 随時活動(活動期間：1年以上の長期)

似た条件のアルバイト・パート



株式会社Rita

プログラミンングの力で社会問題を解決しよう！学生エンジニア...



資料 1 1

個人の肖像権使用についての承諾書

個人の肖像権使用についての承諾書

記入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

大阪府消費者教育学生リーダー会及び大阪府消費者教育関連事業に参加するにあたり、活動に伴う写真や映像を撮影する場合があります。撮影された一部は、下記の内容においてのみ使用され、明記のない案件での使用は一切いたしません。

については、個人の肖像権について下記内容を確認の上、承諾の可否をお知らせ下さい。

個人の肖像権の使用について

- ①大阪府消費者教育学生リーダー会及び大阪府消費者教育関連事業を広報するための制作物（ビデオ、ホームページ、報告書、その他消費者教育に関する冊子やグッズ等）の写真・映像として使用。
- ②報道機関各種での写真・映像掲載（冊子・新聞・テレビでの写真記事・映像）掲載・放送用として使用。
- ③大阪府消費者教育学生リーダー会及び大阪府消費者教育関連事業において連携協力している団体等での写真・映像掲載（冊子・新聞・テレビでの写真記事・映像）掲載・放送用として使用。
- ④大阪府消費者教育リーダー養成講座の講義動画の受講者への講義として使用。

上記記載の個人の肖像権使用について、該当する箇所に○印をつけてください。

承諾する	承諾しない
------	-------

所 属 _____

氏 名 _____ ⑩

資料 1 2

和歌山大学後期集中授業「消費者市民と社会」カリキュラム

後期集中授業「消費者市民と社会」

第1日目 12月5日(土)

第1講 (08:50～10:35) →AICE1、2

消費者教育の基礎理解①概論(講義)

- 消費者教育と消費者市民(推進法を通して)
- SDGs(持続可能な開発目標)と消費者教育について
- 一人の市民として「消費者問題」を理解する

第2講 (10:45～12:30) →AICE3

活動を通じた消費者教育に関する実践1

- ワークショップとアクティブラーニングについて
- 消費者教育推進法がめざす「消費者市民社会」の実現に向けた消費者教育の方法を知る

第3講 (13:10～14:55) →AICE11-1

第1回企業X学生交流会ワークショップ1

- 消費者教育に取り組んでいる企業について理解を深める
- 消費者教育に興味をもつ学生のネットワークを広げる

第4講 (15:05～16:50) →交流会①を含め第1講～第3講の総括と振り返り

第1回企業X学生交流会ワークショップ2

- 消費者教育に取り組んでいる企業について理解を深める
- 消費者教育に興味をもつ学生のネットワークを広げる

第2日目 12月12日(土)

第5講 (08:50～10:35)

活動を通じた消費者教育に関する実践2

- 地域社会における消費者教育の課題

第6講 (10:45～12:30) →AICE9

活動を通じた消費者教育に関する実践3

- 消費者市民教育の実践に向けた企画と教材づくり

第7講 (13:10～14:55) →AICE6

活動を通じた消費者教育に関する実践4

- 消費者市民教育の実践に向けた企画と教材づくり

第8講 (15:05～16:50) →AICE4、5

消費者教育に取り組む各種団体について学ぶ

- ACAP
- NACS
- 消費者教育学生リーダー会

第3日目 12月13日(日)

第9講 (08:50～10:35) →AICE10

自治体における消費者教育推進事業

- 大阪府消費生活センターの取り組み
- 和歌山県消費者センターの取り組み
- 消費者被害に合わないために「消費者被害等の事例紹介

第10講 (10:45～12:30) →AICE7、8

活消費者教育啓発プログラム企画を考える

- 消費者市民教育の実践に向けた企画「第2回企業X学生交流会」
- ファシリテーターになるために
- ボランティア活動について

第11講 (13:10～14:55) →AICE11-2

第2回企業X学生交流会ワークショップ1

- 消費者教育に取り組んでいる企業について理解を深める
- 消費者教育に興味をもつ学生のネットワークを広げる
- ファシリテーターとして消費者教育の活動に参加する

第12講 (15:05～16:50) →AICE12、修了式

第2回企業X学生交流会ワークショップ2

- 消費者教育に取り組んでいる企業について理解を深める
- 消費者教育に興味をもつ学生のネットワークを広げる
- ファシリテーターとして消費者教育の活動に参加する

第13講 (17:00～18:45) →レポート提出

資料 1 3

消費者教育啓発 Web ゲーム画面

大阪府消費者啓発 Web ゲーム「そのときあなたは どうする？」システム画面一覧

■ トップ



■ ログイン



■ 新規会員登録



■ 会員登録完了



■ つくる

大阪府「大学生期における消費者教育推進事業」

そのときあなたははどうする？

つくる

プログラムの選択

公開されたプログラムで選ぶ

対象年齢を選ぶ

目的を選ぶ

希望の性別を選ぶ

年齢を選ぶ

性別を選ぶ

職業を選ぶ

所属を選ぶ

住所を選ぶ

問題を選ぶ

Copyright © 2020 N7 大学生期における消費者教育推進事業 All Rights Reserved

■ あそぶ

大阪府「大学生期における消費者教育推進事業」

そのときあなたははどうする？ゲーム

あそぶ

プログラムの選択

公開されたプログラムで遊ぶ

対象年齢を選ぶ

目的を選ぶ

希望の性別を選ぶ

年齢を選ぶ

性別を選ぶ

職業を選ぶ

所属を選ぶ

住所を選ぶ

問題を選ぶ

Copyright © 2020 N7 大学生期における消費者教育推進事業 All Rights Reserved

■ 「あそぶ」の選択のジレンマ問題

大阪府「大学生期における消費者教育推進事業」

そのときあなたははどうする？ゲーム

あそぶ

Q1. 駄菓子のおもちゃが売れた。その日はどうする。

1. 悪気はあつちゅ、たい棒で
2. 責任をもつてごしめへ捨てる
3. 遊ばないで捨てる

Copyright © 2020 N7 大学生期における消費者教育推進事業 All Rights Reserved

■ 問題登録完了

大阪府「大学生期における消費者教育推進事業」

そのときあなたははどうする？

問題登録完了

TOPへ

あそぶ

問題登録する

Copyright © 2020 N7 大学生期における消費者教育推進事業 All Rights Reserved

■修了証発行

大塚市「大学生期における消費者教育推進事業」

そのときあなたははどうする？ゲーム

修了証

1 様

あなたは今日から消費者市民社会の一員であることも認めます。

大塚市消費者教育推進センター

TOPへ

■みんなの結果をみる

大塚市「大学生期における消費者教育推進事業」

そのときあなたははどうする？ゲーム

みんなの結果

タイプ	割合
しゅかりエコタイプ	50.0%
おつちこちがい、マイペースタイプ	33.3%
ちやっかエコもラ思いタイプ	16.7%

TOPへ

■管理画面ログイン

消費者教育プログラム

管理者ログイン

ログインID

パスワード

自動ログイン

ログイン

■管理画面

消費者教育プログラム

プログラム一覧

ユーザー一覧

■管理画面：プログラム一覧

■消費者教育プログラム

プログラム一覧

プログラム名

ユーザー

開始日

終了日

実行

削除

■管理画面：プログラム一覧>プログラム編集

■消費者教育プログラム

プログラム編集

プログラム名

ユーザー

開始日

終了日

実行

削除

■ 管理者画面：プログラム一覧＞質問一覧

消費者教育プログラム

消費者教育プログラム

質問一覧

質問ID	プログラム名	種別	内容	公開	削除	印刷
1	消費者教育プログラム	消費者教育	消費者教育プログラム	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	消費者教育プログラム	消費者教育	消費者教育プログラム	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	消費者教育プログラム	消費者教育	消費者教育プログラム	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	消費者教育プログラム	消費者教育	消費者教育プログラム	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	消費者教育プログラム	消費者教育	消費者教育プログラム	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	消費者教育プログラム	消費者教育	消費者教育プログラム	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	消費者教育プログラム	消費者教育	消費者教育プログラム	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	消費者教育プログラム	消費者教育	消費者教育プログラム	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	消費者教育プログラム	消費者教育	消費者教育プログラム	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	消費者教育プログラム	消費者教育	消費者教育プログラム	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

■ 管理者画面：プログラム一覧＞質問一覧＞質問編集

消費者教育プログラム

消費者教育プログラム

質問編集

質問ID: 1

プログラム名: 消費者教育プログラム

種別: 消費者教育

内容: 消費者教育プログラム

公開:

削除:

印刷:

更新:

■ 管理者画面：プログラム一覧＞新規登録

消費者教育プログラム

消費者教育プログラム

新規登録

プログラム名:

種別:

内容:

公開:

削除:

印刷:

更新:

■ 管理者画面：ユーザー一覧

消費者教育プログラム

消費者教育プログラム

ユーザー一覧

検索:

表示:

更新:

■ 管理画面：ユーザー一覧>新規作成

消費者教育プログラム

URL: [http://www.119.go.jp/](#)

ユーザー編集

新規作成

名前 ※必須項目です。10文字以内、半角英数字で入力してください。

パスワード ※必須項目です。10文字以内、半角英数字で入力してください。

ユーザー名 ※必須項目です。10文字以内、半角英数字で入力してください。

ユーザー名 (ID) ※必須項目です。10文字以内、半角英数字で入力してください。

性別

メールアドレス

性別

■ 管理者画面：ユーザー画面>ユーザー編集

消費者教育プログラム

URL: [http://www.119.go.jp/](#)

ユーザー編集

編集

名前 ※必須項目です。10文字以内、半角英数字で入力してください。

パスワード ※必須項目です。10文字以内、半角英数字で入力してください。

ユーザー名 ※必須項目です。10文字以内、半角英数字で入力してください。

ユーザー名 (ID) ※必須項目です。10文字以内、半角英数字で入力してください。

性別

メールアドレス

性別

資料 1 4

大阪府消費者教育学生リーダー会議次第

2020年度 第1回大阪府消費者教育学生リーダー会議

次 第

日時：2020年9月1日(火) 10:00～12:00

場所：Zoom (オンライン)

議 事

1. 大阪府消費者教育学生リーダー養成講座について
 - (1) 企画内容と Web 受講システムの仕組みについて
 - (2) 活動紹介の動画撮影について
 - (3) 当日の発表者について
 - (4) 当日の流れについて
2. 企業×学生交流会について
 - (1) 企画内容について
 - (2) 実施日数について
 - (3) ファシリテーターについて
3. システム制作について
 - (1) リーダー会の方針・企画内容について
 - (2) 「作ったプログラムで遊ぼう」システムフローについて
 - (3) 「コンテンツ作り」システムフローについて
 - (4) Web 配信消費者教育プログラムの仕組みについて
 - (5) コンテンツ内容の協議・考案
4. 今後のスケジュールについて

<資料>

- 資料1 消費者教育リーダー養成講座 カリキュラム (Web 講座)
- 資料2 「作ったプログラムで遊ぼう」システムフロー
- 資料3 「コンテンツ作り」システムフロー
- 資料4 Web 配信消費者教育プログラムの仕組み

★ 第一回リーダー会 zoom 会議事録★

参加者：浦谷、岡橋、金野、小島、建林、中嶋、藤井

1. 養成講座での活動紹介について
 - ◎当日の流れや準備物について
 - ・9月16日13時～帝塚山学院大学のスタジオにて動画撮影(各5分)
 - ・泉ヶ丘駅に12時20分集合でタクシーで移動。
 - ・発表者はパワーポイントを9月10日までに難波さんにメールで送付。
 - ・その日が無理な場合は9日、10日も可
 - ◎発表者について
 - (1) リーダー会について→浦谷
 - (2) 大阪府消費者フェアについて→浦谷
 - (3) 泉大津でのイベントについて→中嶋
 - (4) 企業×学生交流会について→小島 or 中嶋
 - (5) 大学学園祭での活動について→岡橋
 - (6) HHPによる広報について→岡橋
2. 企業×学生交流会について
 - ◎日程について
 - ・11月下旬～12月上旬開催でリーダー会の参加人数によって日程調整(アンケート実施)
 - ・参加できない人を減らすためにも複数日程を準備する
 - ・複数日程参加可能
 - ・週を跨いだ土日の2～3日程で実施
 - ◎テーマについて
 - ・講座でのアンケートの集計結果でテーマを調整
 - ・「衣食住」以外のテーマ・参加してほしい企業の候補(アンケート実施)
[ex.IT 業界、観光業界、SDGs]
 - ◎当日について
 - ・企業の講演なしでワークショップのみ
 - ・全体ファシリテーターの企画説明後、それぞれの部屋(グループ)に分かれて
ディスカッション
 - ・ワークショップでの役割は参加者に任せて、リーダー会はサポーターとして参加

3. システム制作について

◎コンテンツ内容について

- ・コンテンツを2つ作る(システム制作のコンテンツとシステムで遊ぶコンテンツ)
- ・ログインを個人アカウントで(年齢等の設定、ログを残す)
- ・年齢等、利用者の特性に合わせて、UIズの内容・デザイン・質問数・文字の表記の変更
- ・過去のデータ(ログ)を残して過去と現在の消費傾向の比較
- ・授業前後の消費に対する考え方の変化(プレポスト)の見える化

→先生に対する利用方法の説明が必要になる

◎タイプ分けについて

- ・年代に合わせて、RPG診断や心理テストみたいに大まかに
- もしくは就職活動時の性格診断のように詳しく表示する
- 最終的なタイプ分けに対してのその理由も伝える

4. 今後のスケジュール

- 9月16日：養成講座の動画撮影
- 9月中旬：システムの第2回コンテンツ会議(アイデア出しなど)
- 9月下旬～10月末：システムのコンテンツの大体決定(アイデア出し)
- 11月：システムのコンテンツ会議(微調整など)
- 10月中旬～12月上旬：養成講座の実施
- 12月上旬～12月中旬：テストユーザーとしてサイト利用&改善
- 12月末：システム納品
- 1月上旬：配信スタート
- 1月：小中学校への教材提供(予定)

★第二回リーダー会 zoom 会議までに考えておくこと★

1. 企業×学生交流会について
 - ・ワークショップの内容について(希望)
 - ・「衣食住」以外のテーマについて

2. システム制作について

- ・コンテンツ内の3点セット【質問の自身、回答、タイプ】

[ex.まっすぐで見た目のきれいな1本100円のきゅうりと、曲がっているが1本10円のきゅうりが売っています。さあ！あなたははどうする？]

- ① まっすぐなきゅうりを買う (おっちょこちよい、マイペースタイプ)
- ② 迷って財布と相談する (ちやっかり、エコもう一息タイプ)
- ③ 曲がったきゅうりを買う (しっかり、エコタイプ)

- ・タイプ表示の理由の説明の考案(データベースを作るため)
- ・デザインやキャラクター等のイラストを描ける人を探す
- ・ナレーション等に興味がある人を探す

2020年度 第2回大阪府消費者教育学生リーダー会議

次 第

日時：2020年9月23日（水）9：30～11：30

場所：Zoom（オンライン）

議 事

1. 企業×学生交流会について
 - (1) 企画内容の確認
 - (2) ファシリテーターについて
 - (3) 交流会のテーマについて
2. システム制作について
 - (1) 企画内容についての確認
 - (2) コンテンツ内容の協議・考案
 - (3) キャラクターのイラストやデザインについて
 - (4) コンテンツ内の3点セット【質問内容・回答の選択肢・タイプ分け】
4. 次回の会議までの作業について
 - (1) Google スプレッドシートの記入方法について

<資料>

- 資料1 「作ったプログラムで遊ぼう」システムフロー
- 資料2 「コンテンツ作り」システムフロー
- 資料3 Web 配信消費者教育プログラムの仕組み

前回の資料を使用

★第2回リーダー会 zoom 会議事録★

参加者：浦谷、岡橋、小島、建林、中嶋、藤井

◎企業×学生交流会について

<日程>

- ・12月5日（土）と12月13日（日）の2日程で開催
- ・時間帯は両日とも13時10分～15時
- ・それぞれの日程につき1テーマを設ける
- ・参加受付は10月1日～11月27日の予定

<内容>

- ・全体の方向性を決めるのが課題
- ・テーマはコロナ前の消費とこれからの消費について一生活者としてどう考えていて、今後「with コロナ」を踏まえてどのような生活・消費活動を行うべきか
- ・直接話せない分、入り口を広くすることで論議を深める
- ・企画に入る前にまず交流会の実績や開催するまでの経緯について伝えて、参加者に興味を持ってもらう(リーダー会:約5分発表)

- ・交流会の位置付けを明確にし、それを参加者に伝える(岡崎先生:約3分)
- ・会話が広がり盛上がりならなかった場合、もしくは時間が余った場合のことを考え、第二のセッション(副議題)を用意しておくべき
- ・従来と違って企業の方全員に30～60秒ほど自己紹介をしてもらって、企業側の参加理由について話して頂く

- ・個々のテーマに分かれた後、そのグループで自己紹介をするが、企業の事業説明には時間を設けておくべき
- ・まともはあらかじめワードでフォーマットを作っておき、zoom で画面共有して発表する

【ワークショップに入る前の流れ】

- (1) 交流会の趣旨説明&交流会のこれまでの実績（5分）
- (2) 岡崎先生からひと言（3分）
- (3) 参加企業のご紹介（1分×13名）
- (4) 全体ファシリテーターよりテーマの趣旨説明（10分）
- (5) グループワーク（40分）
- (6) 共有&まとめ（20分）

<グループサポーターの役割>

- ・リーダー会は各グループにグループサポーターを1名配置する
- ・グループサポーターはオンラインでも企業との双方向のコミュニケーションを取るため

2020年度 第3回大阪府消費者教育学生リーダー会議

次 第

日時：2020年10月18日（日）10:00～12:00
場所：Zoom（オンライン）

議 事

1. 企業×学生交流会について
 - (1) 交流会のテーマ決め
 - (2) 交流会の担当者決め
 - (3) ワークショップのファシリテーター研修について
2. システム制作について
 - (1) コンテンツ内容の協議・考案
 - (2) キャラクターのイラストやデザインについて
 - (3) コンテンツ内の3点セット【質問内容・回答の選択肢・タイプ分け】
3. 養成講座の応募について
 - (1) リーダー会の養成講座の応募についての確認

<資料>

- 資料1 「作ったプログラムで遊ぼう」システムフロー
 - 資料2 「コンテンツ作り」システムフロー
 - 資料3 Web 配信消費者教育プログラムの仕組み
- 第一回 zoom 会議の資料を使用

のつなぎ役としてそれぞれのテーマや企業について調べておく

- ・講演がない分、どのように話を持っていきたいか、あらかじめ企業側にも伝えておき、その方向へ話を持っていくようにする
- ・初めてのオンライン交流会でトラブルがあるかもしれないが、とにかくワークショップを無事に終わらすことを考える
- ・なにかあった時のための対応ガイドライン等あればいいかも
- ・グループのファシリテーターはリーダー会以外の学生が担当し、リーダー会はグループサポーターとしてファシリテーターを支援する
- ・帝塚山学院大学でファシリテーターの研修や交流会のデモンストラレーションを11月中旬に実施

→当日は本番と同じ状況で実施できるよう資料等の準備をしておく

◎システム制作について

- ・Google スプレッドシートを用いて、あなたはそとときどうする？クイズのコンテンツ設計
 - ・クイズの結果に、一言コメントや一言アドバイスを付ける
- なんで自分が○○タイプになったのか、どの選択がどのような評価を受けたのかを把握出来るものにする
- ・タイプごとにイラストで分かりやすく表示
 - ・前回、話題に出たナレーションは×
 - ・今回はページ構成のラフ画を見ながらの話し合い
- ◎次回までにしておくこと
- ①Google スプレッドシートの記入
 - ②交流会での役割について(具体的に扱いたいテーマや、総合司会をしたい等、何に対してのファシリテーターをしたいか)
 - ③システムのコンテンツ内のナビゲーターのイラストや名前を考える

★第3回リーダー会 zoom 会議事録★

参加者：浦谷、岡橋、建林、中嶋、藤井

1. 企業×学生交流会について

◎日程について

- ・12月5日(土)、12月13日(日)の2日程で開催
- ・複数日程参加可能
- ・時間としてはGDで約60分を予定している

◎テーマとメインファシリテーターについて

・全体の趣旨としては、コロナによる消費生活への影響とこれからの新しい生活様式について考えること

- ・12月5日は「衣・食・住」について(メインファシリテーター：藤井)

〔衣→外出しないことから服を買わなくなったことについて

食→食生活の変化(外食→中食、内食)、宅配やテイクアウトの需要について

住→リモートワークへの切り替えによって変わったことや変えていくべきこと、変えないで続けていくべきことについて(特に不動産や建設業界等)

⇒店舗による接客を行っている企業を中心に、消費者や企業の気持ちの変化がどのような形で消費者の購買活動や売り上げに変化をもたらしているのかを知る機会とする

- ・12月13日は「観光・IT・環境」について(メインファシリテーター：中嶋)

〔観光→旅行に行くことに対するハードルとその打開策について

IT→消費者の実店舗での消費からネット通販への購買形態のシフトについて

環境→各種イベント(コンサートや舞台等を含む)等、人が集める場所への影響について。また、オンライン開催になったことによる観光客の減少やそれに伴う地域経済への影響について

⇒航空会社を含む旅行会社や通販サイト会社、イベント会社等を中心に「gotoトラベル」や国からのイベント自粛要請等の影響を受けて、どのように対応してきたか。また、今後どのようなイベントの消費活動を促していくのかを知る機会とする

※「衣・食・住」「観光・IT・環境」におけるテーママの内容で決めておくが、話し合いの中で、以下の内容のアウトプットができそうであれば、適直テーマは変更しても良い。

・両日とも最後の全体共有の場では、「○○出来なくなつたが、○○が出来るようになった」というような、コロナによるピンチをチャンスと捉え、アフターコロナに向けた意見や地球にやさしい消費活動について発表してもらいたいと考えている

・全体ファシリテーターは導入部分としてそれぞれのテーマ説明を行い、企画の趣旨を参加者に伝える

◎当日について

- ・企業の講演なしでワーキングショップのみ
- ・全体ファシリテーターの企画説明後、それぞれの部屋(グループ)に分かれてディスカッション

→参加申し込みの際に希望するテーマを第3希望まで順位付けしてもらい、グループ分けを行う。もし人数にバラつきがあった場合は、希望を考慮し、抽選などによって分ける

・ワーキングショップでの役割は参加者に任せて、リーダー会はそのサポートとして参加

◎ファシリテーター研修について

- ・開催日時は11月18日(水)10時~12時
- ・開催場所は中百舌島の事務所、中百舌島まで来れない人はZoomで参加してもらっても構いません。ただ、直接の方が質問とかも出来るので、出来るだけ来て欲しいです
- ・参加自体が出来ない人は録画をしておくので、後日それを観てください

2. 全国消費者フォーラムについて

- ・2月22日に開催される日本消費生活センター主催の全国フォーラムで、そこに動画で応募をしている
- ・従来であれば発表者が2名だが、コロナ下でオンラインでの応募も可能となり、動画であれば参加人数に規制はない
- ・抽選結果はまだ先なので、正式に参加することが決まれば、再度連絡する

3. 次回までしておくこと

- ・Googleスプレッドシートへの記入(12月にはシステムの納品をしなければならぬため、質問事項や選状態、タイプ分けについて適宜記入して欲しいです)
- ・交流会のメインファシリテーターをしてくれる人は、それをもとに研修を行うので、準備をお願いします。

2020年度 第4回大阪府消費者教育学生リーダー会議
特別 企業×学生交流会 事前研修

日時：2020年11月18日(水) 10:00~13:00
場所：さかい新事業創造センター 多目的会議室+Zoom (オンライン)

次 第

議 事

1. Webでワークショップを実施するために(講義)
講師：大串 恵太(追手門学院大学教員)
(1) Webでワークショップを行うときの注意点
(2) 参加意識を高める手法
(3) グループワークを円滑に進めるための注意点とスキル
(4) 当日の資料の見せ方、作り方(Googleスライドの使用)
2. 質問タイム(注意点の確認)

<資料>

- 資料1 交流会次第(第1回、第2回)
- 資料2 交流会 参加方法などのご案内(企業向け)
- 資料3 交流会全体台本(第1回)
- 資料4 第1回交流会 グループワーク資料+全体資料(Googleスライド)
- 資料5 第1回交流会 ワークショップ台本
- 資料6 第2回交流会 グループワーク資料+全体資料(Googleスライド)
- 資料7 第2回交流会 ワークショップ台本

2020年度 第5回大阪府消費者教育学生リーダー会議
特別 企業×学生交流会 事前研修(予行演習)

日時：2020年11月29日(日) 18:00~20:00
場所：Zoom(オンライン)

次 第

議 事

1. 第1回交流会の予行演習
第1回ファシリテーター：藤井優希(和歌山大学、4期生)
参加者役：他のメンバー
(1) 第1回交流会をはじめからの通しで予行演習
(2) 手直しが必要な箇所について意見交換→修正
2. 気づいた点の確認
3. 当日の注意点を再確認

<資料>

- 資料1 交流会次第(第1回、第2回)
- 資料2 交流会 参加方法などのご案内(企業向け)
- 資料3 交流会全体台本(第1回)
- 資料4 第1回交流会 グループワーク資料+全体資料(Googleスライド)
- 資料5 第1回交流会 ワークショップ台本
- 資料6 第2回交流会 グループワーク資料+全体資料(Googleスライド)
- 資料7 第2回交流会 ワークショップ台本

2020年度 第6回大阪府消費者教育学生リーダー会議
特別 企業×学生交流会 振り返り

次 第

日時：2020年12月13日（日）15：00～16：00
場所：Zoom（オンライン）

議 事

1. 交流会の振り返り
2. 今年度のリーダー会議活動について
(1) Web ゲーム
(2) 全国消費者フォーラムでの発表と動画作成
3. 5期生と意見交換

※第2回企業×学生交流会及び振り返り修了後に、今年度の受講生（5期生）も参加し
てのリーダー会議。資料はなし。

2020年度 第7回大阪府消費者教育学生リーダー会議

次 第

日時：2020年12月25日（金）19：00～21：00
場所：Zoom（オンライン）

議 事

1. 全国消費者フォーラムについて
(1) ゲームの内容確認
(2) 発表内容の確認
(3) 台本づくり&動画撮影スケジュール確認

<資料>

- 資料1 発表企画
- 資料2 全国消費者フォーラムの申込内容
- 資料3 全国消費者フォーラム実施要項

大阪府消費者教育学生リーダー会
消費者教育オンラインゲーム

「そのときあなたはこうする？」完成！



リーダー会では、毎年消費者教育啓発のための様々なボランティア活動を行なってきました（具体的な活動はリーダー会HPに掲載しているのを見てください）。しかし、今年度はコロナ禍で対面でのボランティア活動が実施できなくなったことから、リーダー会では、これまで実施してきた啓発プログラムの中で、「選択のジレンマ問題」を扱ったゲームについて、オンラインで遊ぶことができよう開発を進めてきました。そのゲームがこの1月に遂に完成しました。皆さんが講座で課題として提出いただいた「選択のジレンマ問題」は、ゲームに問題として活用されています。上部のキャラクターは、このゲームのために新しく学生さんが制作しました。

ついでに、一度、ゲームで遊んでみてください。リーダー会のホームページで提供しています。（現在まだテストサイトに掲載しています。2月中旬には本番にアップ予定です。）自分専用のプログラムを「つくるページ」で作成してもらっても構いません。使ってみて改善策や不具合などが見つかったら、下記まで連絡していただけると嬉しいですよ。次年度のさらなる改善に向けて、よりよいゲームになるよう皆さんの力を是非貸してください！

学生リーダー会ホームページ

下記アドレスはゲームサイト



https://www.aice-p.com/consumer/student_leader/game_test.html

【お問合わせ】 産学協働人材育成機構 AICE 大阪府消費者教育 <consumer@aice-p.com> 担当：艦波
〒591-8025 堺市北区長曽根町130-42 きかい新事業創進センター100号 有限会社ダブル・ワークス内
TEL (072) 240-7071 FAX (072) 240-7081 Eメール: sneeds@w-works.jp
リーダー会 URL: https://www.aice-p.com/consumer/student_leader/
AICE URL: <http://www.sneeds-b-kansai.jp/AICE/>

全国消費者フォーラム
動画発表会 企画書

「参加型オンライン啓発プログラムゲームの開発と提供を始めて」

2021年2月22日

浦谷、岡橋、中嶋、小島、藤井、建林、金野

1. リーダー会について：浦谷
2. リーダー会活動紹介：岡橋
3. Web配信啓発ゲーム「そのときあなたはこうする？」について

- ①主旨・目的：藤井（作ろうとした発想）
- ②2種類（つくる、あそぶ）で構成：金野
- ③「つくる」の説明：中嶋（学校で活用、教員が管理できる、非公開の場合）
- ④「あそぶ」の説明：建林
- ⑤利用の効果及び利用への期待：小島

スケジュール

日程	概要	内容
12月25日	企画会議	動画の役割分担、話す内容の決定
12月30日	完全台本作成	各自、動画の読み原稿の完全原稿を提出し、全体の流れを確認(各自2分程度)
1月4日(中嶋)	1月4日	台本完成 完成した台本で動画を作成スタート
1月5日~7日	動画撮影	○中百舌島 ○各自
1月8日	動画提出期限	各自で撮影した動画を提出。 事務局では、動画を1つに編集
1月12日	動画チェック	動画完成版を各自で確認。
1月14日	動画完成	
1月15日	動画提出	日本消費生活センターへ提出
2月22日	日本消費者フォーラム	発表当日

2020年度 第8回大阪府消費者教育学生リーダー会議

次 第

日時：2021年2月23日(火) 10:00~12:00
場所：Zoom (オンライン)

議 事

1. 次年度の役割決め
 - (1) 代表
 - (2) 広報担当 (リーダー、メンバー)
 2. オンライン啓発プログラムのグループコンテンツの充実化
 - (1) オンライン啓発プログラム「あなたはそのときあなたははどうする？」ゲームについての概要説明
 - (2) テーマの設定 (Ex. 環境・特殊詐欺・健康・衣・食育・住)
 - (3) テーマ担当の役割決め
 - (4) 問題作成の方法についての説明&確認作業
 - (5) キャラクターの名前について
2. 次年度に向けて
(1) やりたいことを考える (意見交換)

<資料>

- 資料1 「作ったプログラムで遊ぼう」システムフロー
資料2 「コンテンツ作り」システムフロー

参加型オンライン啓発プログラムゲームの開発と提供を始めて

大阪府消費者教育学生リーダー会

浦谷拓弥、岡橋拓摩、藤井優希、金野茜、中嶋未歩、建林萌恵、小島夢輝

資料 1 5

大阪府消費者フェア 2020 ちらし

今年は
会場とweb配信の
両方で開催します！

楽しく学ぼう！

大阪府消費者フェア2020

～新しい生活様式とエシカル消費～

以前から受け継がれてきた「くらしの知恵」や新しい情報がいっぱい!!
新しい生活様式とエシカル消費(※)、食品ロス削減に向けたヒントを
見つけませんか。

※ 環境や社会に配慮した商品・サービスを利用すること



にぎわい広場 **参加無料**

日時 **11月7日(土) 11:00～15:00**

場所 **大阪府咲洲庁舎1階 フェスパ**

もずやんと写真撮影

・消費者教育推進大使のもずやんと
いっしょに写真を撮ろう！

もずやん
消費者教育推進大使



スライドショーコーナー

・参加団体の活動紹介
・消費者トラブルと対処法に関するコント

パネルコーナー

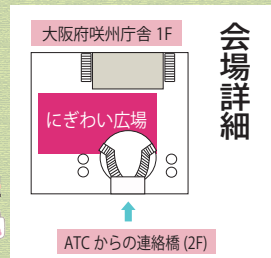
・消費者団体、
NPO法人等
が調査・研究
した消費生活
に役立つ情報
を展示

**情報
コーナー**

・消費生活に
関する様々な
情報を提供



マイバッグを
持ってきてね



にぎわい広場での
新型コロナウイルス感染症の
感染防止への協力をお願い

入場を制限する場合があります

マスクまたは
フェイスシールドを
着用してください

受付で
検温します

参加前に、手指の
アルコール消毒を
してください

大阪コロナ追跡システムの
QRコードを読み取って、
メールを送ってください

体調のすぐれない方は
ご遠慮ください

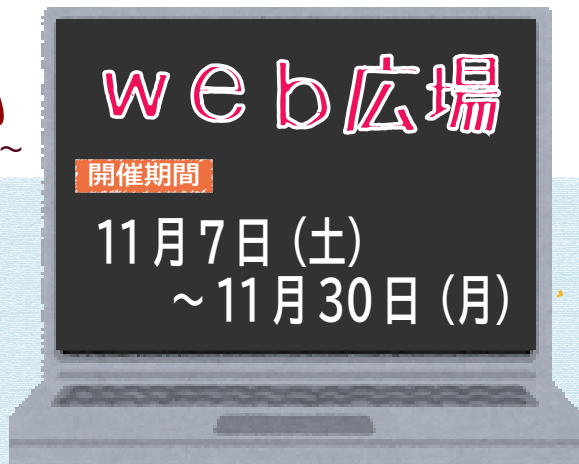


消費者教育推進大使
もずやん

※ 障がい等により配慮を希望される方は、事前にご相談ください

楽しく学ぼう！
大阪府消費者フェア2020
～新しい生活様式とエシカル消費～

消費者教育推進大使
もずやん

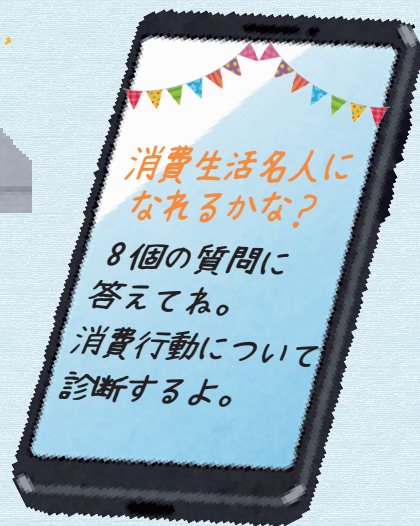


開催期間

11月7日(土)
～11月30日(月)



web広場へのQRコード



web上に、
もずやんが隠れているよ

パフォーマンス(ステージ)



- ・参加団体の活動紹介
- ・アインシュタイン・松浦景子(吉本新喜劇)による消費者トラブルに関するコント

ハンドメイド(手づくりコーナー)



- ・味噌や小物の製作プロセスなど

クイズに答えて
景品をもらおう！
会場からでも
アンケートに回答
いただいた方の中から
10名様に
くらしに役立つ商品を
プレゼントします



消費者教育推進大使
もずやん

知っここ情報(パネルコーナー、情報コーナー)



- ・消費者団体、NPO法人等が調査、研究した情報を提供
- ・消費生活に役立つ様々な情報を提供

主催

大阪府消費生活センター・大阪府消費者フェア2020実行委員会

- ・企画・運営
- ・イベントに関する
問い合わせ

公益財団法人関西消費者協会

TEL: 06-6612-2330 FAX: 06-6612-0090

E-Mail: staff@kanshokyo.jp URL: http://www.kanshokyo.jp/



12 つくる責任
つかう責任



2030年に向けて
世界が目指した
「持続可能な開発目標」です

資料 1 6

全国消費者フォーラム演題目次

令和2年度

全国消費者フォーラム

共生社会の実現に向けて

—「誰一人取り残さない」社会へ—

令和3年2月22日(月)

会場：アルカディア市ヶ谷(私学会館)



主催
独立行政法人
国民生活センター

令和2年度 全国消費者フォーラム

テーマ 「共生社会の実現に向けて —「誰一人取り残さない」社会へ—」

日時：令和3年2月22日(月)
会場：アルカディア市ヶ谷(私学会館)
主催：独立行政法人国民生活センター

プログラム

【分科会】 12:30~14:00

第1分科会

＜会場：6階 阿蘇＞

消費者被害防止への取り組み

アドバイザー兼司会 弁護士(国民生活センター客員講師) 池本 誠司

第2分科会

＜会場：6階 霧島＞

学校における消費者教育の取り組み

アドバイザー兼司会 公益財団法人消費者教育支援センター主任研究員
淑徳大学総合福祉学部非常勤講師 庄司 佳子

第3分科会

＜会場：5階 大雪＞

連携・協働による消費者教育の取り組み

アドバイザー兼司会 独立行政法人教職員支援機構つくば中央研修センター長 清國 祐二

第4分科会

＜会場：5階 穂高＞

SDGs-成熟した消費社会を考える取組み-

アドバイザー兼司会 公益財団法人消費者教育支援センター専務理事・首席主任研究員
柿野 成美

第5分科会

＜会場：4階 鳳凰＞

安全・安心な暮らしのための多様な取組み

アドバイザー兼司会 租山女学園大学現代マネジメント学部教授、日本消費者教育学会会長
東 珠実

【全体会】 <会場：3階 富士>

14:40~14:55

主催者挨拶

独立行政法人国民生活センター理事長 山田 昭典

14:55~16:00 分科会のまとめ及びメインテーマを巡る討論

各分科会アドバイザー(進行：東 珠実)

16:00 閉会

【ビデオ発表】 14：00～16：30

＜会場：6階 阿蘇＞

1. 特別支援学校における継続した消費者教育への取り組みについて
青森県立七戸養護学校
高橋 正哲
2. 講談「悪質商法撃退法～情報商材編～」
東三河広域連合消費生活課
平松 宏信

＜会場：6階 霧島＞

3. 学校における消費者教育の取り組み
東温市消費生活相談窓口
武田 咲枝
4. 放課後児童クラブ(学童保育)指導員による消費者教育実践の提案
—おやつガイドの協働制作と指導員へのアンケート調査より—
神戸松蔭女子学院大学:まほか
片平 理子まほか

＜会場：5階 大雷＞

5. 循環型社会をめざして～「蚤の市」
勝山市消費者団体連絡協議会
山場 眞理子

＜会場：5階 穂高＞

6. 知る・やってみる・広げる エシカル消費—普通科高校の挑戦—
徳島県立城ノ内高等学校
安藝 美乃ほか
7. 消費者の倫理と意識を考える～ペットや家畜の食に着目して～
佐賀大学経済学部経済法学科・岩本ゼミナール
吉澤 大樹ほか

＜会場：4階 鳳凰＞

8. 参加型オンライン啓発プログラムの開発と提供を始めて
大阪府消費者教育学生リーダー協会 JACCY
浦谷 拓弥ほか
9. コロナ禍でのシニアのICTリテラシー向上啓発活動の展開
公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
河嶋 信子ほか
ICTリテラシー向上啓発プロジェクト

【ポスター発表】＜会場：6階 霧島＞ 14：00～16：30

1. 新型コロナウイルス時代の大学生への消費者教育～消費生活センターとの連携による初年次教育～
鳥取大学医学部保健学科ほか
上田 悦子ほか
2. 食品ロス削減をあふたの手で～コロナ禍を超えて～
公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
食生活委員会
藤原 以久子ほか
3. 消費者としてのネットリテラシーを育むためのリーフレットの作成について
公益社団法人全国消費生活相談員協会IT研究会
柿沼 由佳
4. 共生社会をめざして！
ひとえの会 消費者問題グループ(世田谷区消費生活課区民講師の会)
朝倉 宏美ほか

目次

全体プログラム	1～2
《第1分科会》	
テーマ：消費者被害防止への取り組み	
プログラム	6
発表者資料	7～36
《第2分科会》	
テーマ：学校における消費者教育の取り組み	
プログラム	38
発表者資料	39～66
《第3分科会》	
テーマ：連携・協働による消費者教育の取り組み	
プログラム	68
発表者資料	69～96
《第4分科会》	
テーマ：SDGs-成熟した消費社会を考える取り組み-	
プログラム	98
発表者資料	99～124
《第5分科会》	
テーマ：安全・安心な暮らしのための多様な取組み	
プログラム	126
発表者資料	127～156
《ビデオ発表》	
プログラム	157
《ポスター発表》	
プログラム	158

資料 1 7

企業×学生交流会次第（第 1 回～第 2 回）

大阪府消費者教育学生リーダー会主催
第2回 企業×学生交流会

2020年12月13日(日) 13:10-14:55

Zoomにて開催

次第 IT/生活環境/観光

第2回テーマ

IT/生活環境/観光

時間	プログラム	全体ファシリテーター： 中嶋未歩(和歌山大学)
1	13:10(3) 交流会の趣旨説明	大阪府消費者教育学生リーダー会代表 浦谷拓弥(大和大学)
2	13:13(2) 岡崎先生のお話	岡崎裕(和歌山大学)
3	13:15(15) 参加企業のご紹介	消費者関連専門家会議(ACAP)8社 日本消費生活アドバイザー・コンサルタン ト・相談員協会(NACS)4社 日本ヒープ協議会1社
4	13:30(5) 参加者チェックイン	全員
5	13:35(10) 今日のテーマ趣旨説明	大阪府消費者教育学生リーダー会4期生 中嶋未歩(和歌山大学)
6	13:45(30) グループワーク	全員
7	14:15(30) 全体共有&まとめ	各グループ代表者 中嶋未歩(和歌山大学)
8	14:45(3) 岡崎先生のお話	岡崎裕(和歌山大学)
9	14:55 閉会	中嶋未歩(和歌山大学)

大阪府消費者教育学生リーダー会主催
第1回 企業×学生交流会

2020年12月5日(土) 13:10-14:55

Zoomにて開催

第1回テーマ
衣食住

次第

時間	プログラム	全体ファシリテーター： 藤井優希(和歌山大学)
1	13:10(3) 交流会の趣旨説明	大阪府消費者教育学生リーダー会代表 浦谷拓弥(和歌山大学)
2	13:13(2) 岡崎先生のお話	岡崎裕(和歌山大学)
3	13:15(15) 参加企業のご紹介	消費者関連専門家会議(ACAP)8社 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会(NACS)4社 日本ヒーブ協議会1社
4	13:30(5) 参加者チェックイン	全員
5	13:35(10) 今日のテーマ趣旨説明	大阪府消費者教育学生リーダー会4期生 藤井優希(和歌山大学)
6	13:45(30) グループワーク	全員
7	14:15(30) 全体共有&まとめ	各グループ代表者 藤井優希(和歌山大学)
8	14:45(3) 岡崎先生のお話	岡崎裕(和歌山大学)
9	14:55 閉会	藤井優希(和歌山大学)

資料 18

大阪府消費者教育学生リーダー養成講座アンケート結果

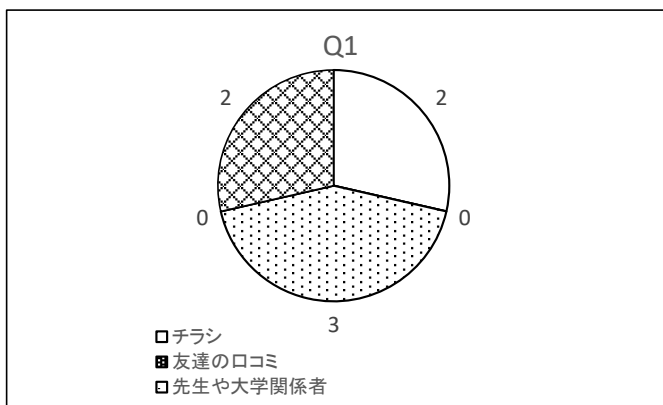
令和2年度「消費者教育リーダー養成講座」 受講者アンケート集計結果

回答数	7
-----	---

Q1 本講座をどのように知ったか

1	チラシ	2
2	友達の口コミ	0
3	先生や大学関係者	3
4	消費者教育学生リーダーに認定された方から	0
5	その他	2

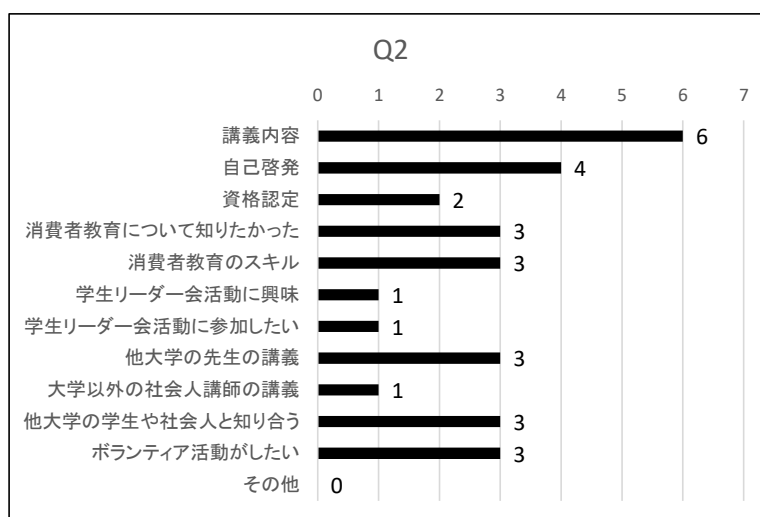
(その他)



Q2 受講動機(いくつでも可)

1	講義内容	6
2	自己啓発	4
3	資格認定	2
4	消費者教育について知りたかった	3
5	消費者教育のスキル	3
6	学生リーダー会活動に興味	1
7	学生リーダー会活動に参加したい	1
8	他大学の先生の講義	3
9	大学以外の社会人講師の講義	1
10	他大学の学生や社会人と知り合う	3
11	ボランティア活動がしたい	3
12	その他	0

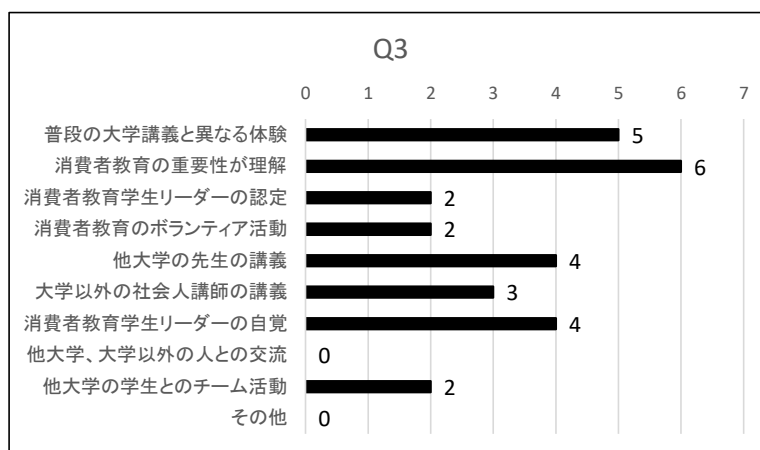
(その他)



Q3 受講して良かったこと(いくつでも可)

1	普段の大学講義と異なる体験	5
2	消費者教育の重要性が理解	6
3	消費者教育学生リーダーの認定	2
4	消費者教育のボランティア活動	2
5	他大学の先生の講義	4
6	大学以外の社会人講師の講義	3
7	消費者教育学生リーダーの自覚	4
8	他大学、大学以外の人との交流	0
9	他大学の学生とのチーム活動	2
10	その他	0

(上記以外にあればお書きください)



令和2年度「消費者教育リーダー養成講座」 受講者アンケート集計結果

Q4 不満だった点

(具体的に)

- ・一つのことを深掘りして、特定の分野についての専門性を高めたかった。消費者市民社会という大きな枠組みのなかで、専門としている分野についての講義を受けたい。
- ・楽しかったです。
- ・確認テストの送信が、完了したのかどうか、見て分かるようにして欲しかった。
- ・企業×学生交流会のグループディスカッションで意見を交換する時間が短く、あと15分ほど頂けたらより意見交換が出来たように感じました。また、グループディスカッションについて提案なのですが、テーマに対して意見を出せる範囲が、時間に対して少々広いと感じましたので、ディスカッションのテーマの数を減らす、もしくはテーマをもう少し細かく設定することで、何について話すのが明確に決まり、短い時間でもより良いディスカッションが出来ると思いました。

Q5 消費者教育学生リーダーによる消費者教育普及啓発活動についてどう思いますか？

(具体的に)

環境への配慮やフェアトレードなどSDGSに基づいた活動で、非常に意義があると思います。

消費者教育普及啓発活動によって、通販とかのトラブルを回避することができ、被害にあう消費者の減少につながるのも良いことだと思います。

大阪府などが支援して活動をするので安心して活動に参加できると思いました

消費について意識する人が増えたら、今後もっと自然環境が良くなると思う

非常に良いことだと思います。会社の方や先生方が啓発するのに加えて学生達も啓発活動に参加することは、18歳以下の子供たちに消費活動への関心を持たせやすくすると思います。それが消費者市民社会に繋がると考えます。

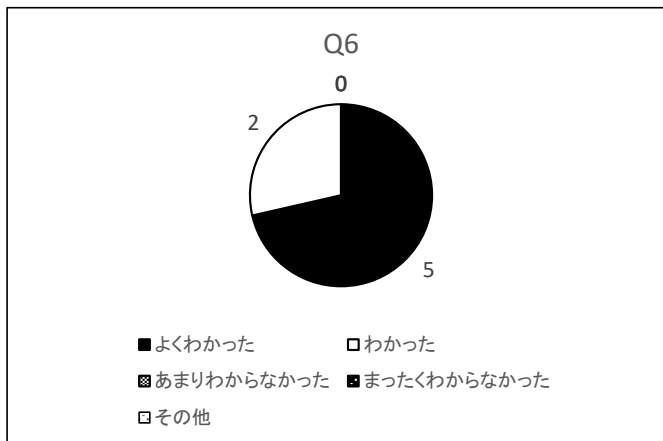
これから(コロナ禍)は、インターネットでの情報発信が必要だと感じた。

消費者教育啓発活動に限らず、啓発活動全般に言えますが、企業が広告やCM等を使って行う啓発活動と、学生が主体的に行う啓発活動では、相手への響き方が違うと感じており、学生が行う方が、相手の方は興味や関心、応援したいという気持ちを持って聞いてくれる可能性が高いため、相手へ内容が伝わりやすいと感じました。そのため、個人に対しての説明において、学生リーダーはとても大きな意味があると思いました。

逆に企業が行う啓発活動は多くの人に広く知らせる事ができるのが強みなので、同じ啓発活動においても場面や状況に応じた使い分けが必要だと感じました。

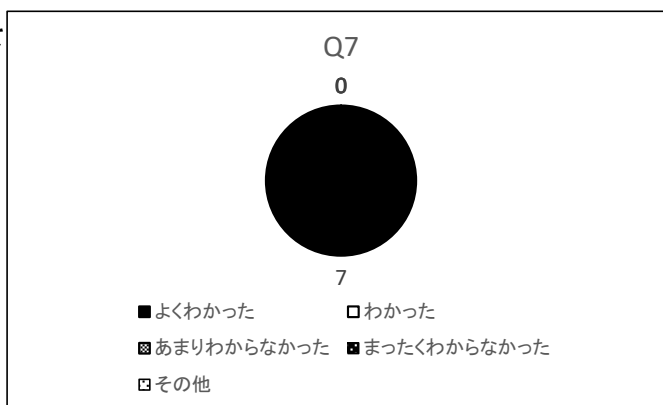
Q6 安全・安心な消費生活を送る方法がわかったか？

1	よくわかった	5
2	わかった	2
3	あまりわからなかった	0
4	まったくわからなかった	0
5	その他	0



Q7 「消費者市民社会」の形成のためにとるべき行動について

1	よくわかった	7
2	わかった	0
3	あまりわからなかった	0
4	まったくわからなかった	0
5	その他	0

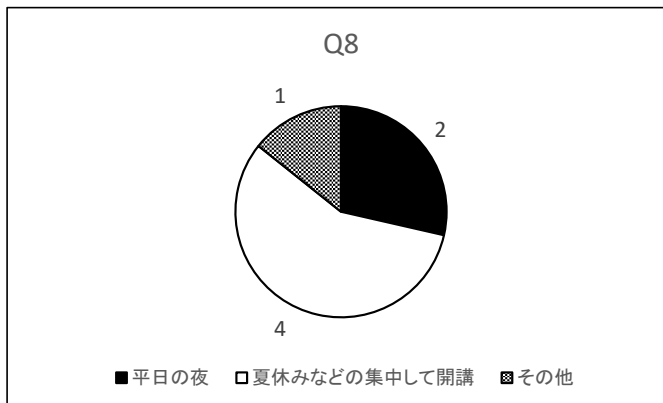


令和2年度「消費者教育リーダー養成講座」 受講者アンケート集計結果

Q8 セミナーの開講時期として適当なものは？

1	平日の夜	2
2	夏休みなどの集中して開講	4
3	その他	1

(その他)



Q9 自由な意見

ネットでのオンライン販売やゲームの課金など若者が消費者トラブルに陥りやすいことから、若者に焦点を絞った啓発運動を展開したい。

消費者教育のことについて知ることができるので良かったです。

対面での活動が楽しみです。

参加できて良かったです。様々な企業や大学から参加しており、普段話すことのないような方々とお話しできてよかったです。

家族や友達にエシカルな消費を促せるよう、まずは自分が行動で示す必要があると考えた。

今回の講義を受講して、消費者教育および消費者教育リーダー活動はより多くの学生に知ってもらうことが大切だと感じましたので、可能でしたら出張講義などを行うことで、より多くの学生に消費者教育とその大切さを知ってもらうことが出来ると考えました。今回は、貴重な講義およびそれに関わる企業との交流会などの時間をくださりありがとうございました。

資料 19

大阪府消費者教育学生リーダー養成講座アンケート結果

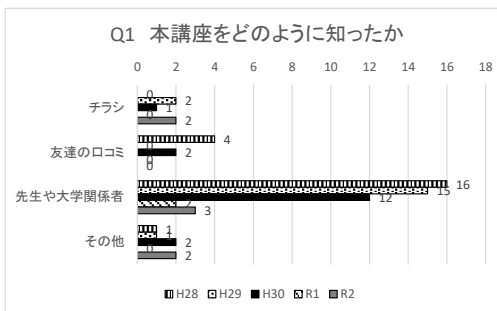
(5年間集計)

平成28年度、29年度、30年度、令和元年度、2年度「消費者教育リーダー養成講座」受講者アンケート集計結果

	H28	H29	H30	R1	R2	合計
受講生回答数	21	18	17	3	7	66

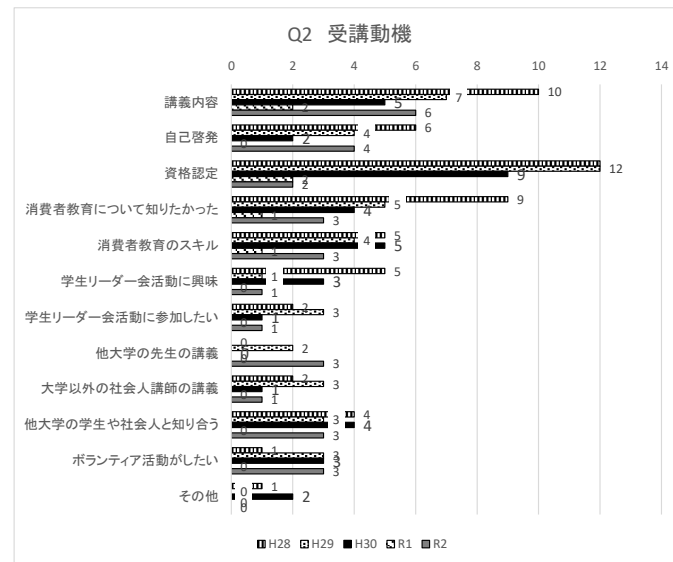
Q1 本講座をどのように知ったか

	H28	H29	H30	R1	R2	合計
1 チラシ	0	2	1	0	2	5
2 友達のロコミ	4	0	2	0	0	6
3 先生や大学関係者	16	15	12	2	3	48
4 その他	1	1	2	0	2	6



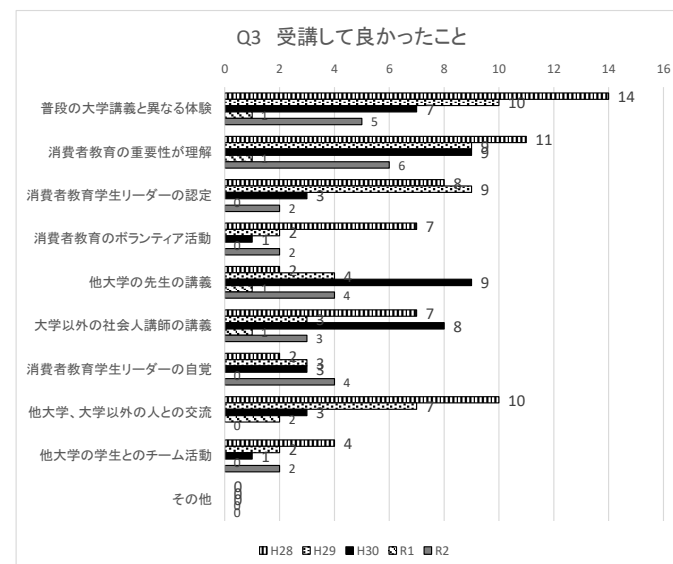
Q2 受講動機(いくつでも可)

	H28	H29	H30	R1	R2	合計
1 講義内容	10	7	5	2	6	30
2 自己啓発	6	4	2	0	4	16
3 資格認定	12	12	9	2	2	37
4 消費者教育について知りたかった	9	5	4	1	3	22
5 消費者教育のスキル	5	4	5	1	3	18
6 学生リーダー会活動に興味	5	1	3	0	1	10
7 学生リーダー会活動に参加したい	2	3	1	0	1	7
8 他大学の先生の講義	0	2	0	0	3	5
9 大学以外の社会人講師の講義	2	3	1	0	1	7
10 他大学の学生や社会人と知り合う	4	3	4	0	3	14
11 ボランティア活動がしたい	1	3	3	0	3	10
12 その他	1	0	2	0	0	3



Q3 受講して良かったこと(いくつでも可)

	H28	H29	H30	R1	R2	合計
1 普通の大学講義と異なる体験	14	10	7	1	5	37
2 消費者教育の重要性が理解	11	9	9	1	6	36
3 消費者教育学生リーダーの認定	8	9	3	0	2	22
4 消費者教育のボランティア活動	7	2	1	0	2	12
5 他大学の先生の講義	2	4	9	1	4	20
6 大学以外の社会人講師の講義	7	3	8	1	3	22
7 消費者教育学生リーダーの自覚	2	3	3	0	4	12
8 他大学、大学以外の人との交流	10	7	3	2	0	22
9 他大学の学生とのチーム活動	4	2	1	0	2	9
10 その他	0	0	0	0	0	0



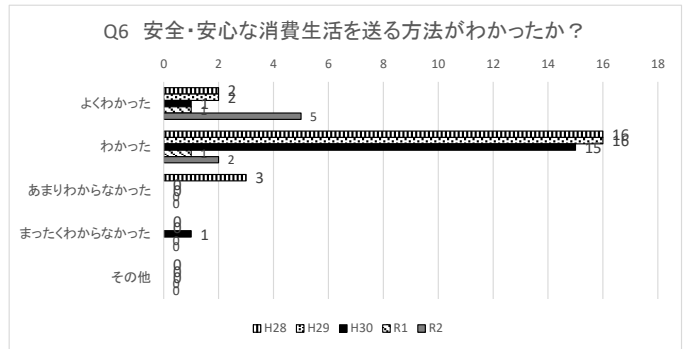
(上記以外にあればお書きください)

- 2016 ・法律やキッカケなど、根本的な部分を学べて良かった。
 ・消費者教育といった新しい分野について学ぶことが出来て良かったです。
 ・自分で定めた目標「いい補佐になるためリーダーについて学ぶ」というものの全体像(?)が見えた。
 ・サークル以外で社会人になっても消費者教育に取り組める場所(つながり)が得られた。
 ・消費者教育について知れたこと。
 ・消費者教育について以前より知識を得られました。
- 2017 ・消費者教育がどのようなものかわかった。
 ・企業の人に直接お話しが聞けたこと。
 ・消費者としての視点から社会を見て考えられた。
 ・来年から、小学校教員として社会に出ていこうと考えている。学校現場で、消費者教育を展開していけるような授業のイメージをもつことができた。
- 2018 ・他大学の方と知り合い、話をすることがとても新鮮でした。
 ・日本ハムの川口さんのお話を聞くことができた。自分のレベルの低さが分かった。
 ・消費者教育の重要性を理解できた。

平成28年度、29年度、30年度、令和元年度、2年度「消費者教育リーダー養成講座」
受講者アンケート集計結果

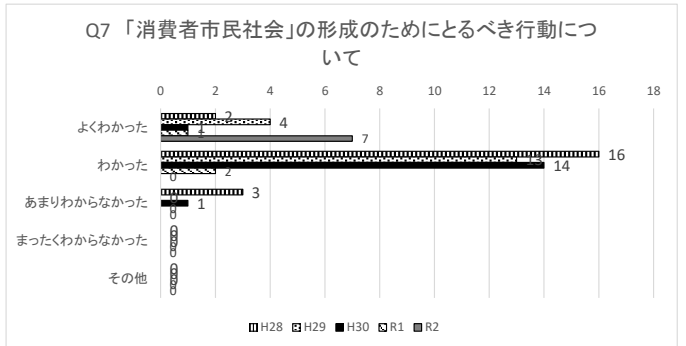
Q6 安全・安心な消費生活を送る方法がわかったか？

	H28	H29	H30	R1	R2	合計	
1 よくわかった	2	2	1	1	5	11	17%
2 わかった	16	16	15	1	2	50	76%
3 あまりわからなかった	3	0	0	0	0	3	5%
4 まったくわからなかった	0	0	1	0	0	1	2%
5 その他	0	0	0	0	0	0	0%



Q7 「消費者市民社会」の形成のためにとるべき行動について

	H28	H29	H30	R1	R2	合計	
1 よくわかった	2	4	1	1	7	15	23%
2 わかった	16	13	14	2	0	45	68%
3 あまりわからなかった	3	0	1	0	0	4	6%
4 まったくわからなかった	0	0	0	0	0	0	0%
5 その他	0	0	0	0	0	0	0%

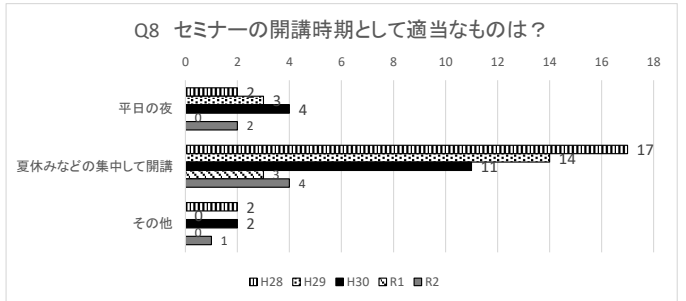


Q8 セミナーの開講時期として適当なものは？

	H28	H29	H30	R1	R2	合計	
1 平日の夜	2	3	4	0	2	11	17%
2 夏休みなどの集中して開講	17	14	11	3	4	49	74%
3 その他	2	0	2	0	1	5	8%

(その他)

- ・休日に開講する
- ・土日の連続でやる。一週間空くのはしんどい。



Q4 不満だった点

- H28 ・ボランティアなどスケジュールも事前に伝えて欲しかった。急に言われたのに、参加前提っぽく話が進んだので、行きたくても行けなかったのが申し訳ない。
 ・自分がまだ消費者リーダーとして、物足りないと思った。
 ・初めての講座での消費者社会の定義が分かるのに時間がかかり少し遅れてしまった。
 ・もう少し時間が欲しかった
 ・準備期間が短かった。1、2回と3回の間が長かった。
 ・AICEの説明等、はじめの触りがもう少し欲しかった。
 ・イベントまでの準備期間が少なかった
 ・主催者さんの立ち位置がイマイチ分からず不安だった。(先生方の個人的な意見がとても聞きたかった。)
 ・組織や所属が全くわからなかった。交流会の具体的な目的や目標がわからないうまま参加したので、意義を見出せなかった。
 ・時間がない。消費者教育、消費者市民社会について理解が浅い。
 ・一気に講義を開きすぎ
 ・強いて挙げるなら遅れて連携があまりとれなかったこと。
- H29 ・休み時間をもう少しほしかった。
 ・講義の時間が何度も前後したこと
 ・資料が少し味けなく、見づらかった。
 ・話がわからないことが多々ありました。同じことを何度も話して、一番何を私たちに伝えたいのかが分からなかったです。
 ・もっとわかりやすく説明して講義をしてほしい。
- H30 ・場所が分かりにくく、迷った。
 ・今年の参加者が少なくて残念だった。
 ・時間が長いと思いました。
 ・もう少し日本ハムさん(企業)の話が聞きたかった。
 ・今後の予定についてのアナウンスが十分ではなかったと思う。
 ・話がつまらない、もう少し興味をもてるような話し方をして欲しい。講義資料が見にくい、もっと単的にまとめることはできないのか、講義の仕方が面白くない、資料に書いてあるものだけを言われても眠くなる。今回2回の講義だけで良いと言われてたのに、交流会に出ないといけないとはどういうことなのか、ちゃんと情報共有して下さい。中途半端すぎる資格として。
 ・資料にのっていることがあまり話されなかった点。資料を見ても分からないから、メモを取るが、すぐ話が変わって、最後までメモできなかった。
- R1 ・あまりきちんと理解しないままに、企画作りをしてしまったこと。
- R2 ・一つのことを深掘りして、特定の分野についての専門性を高めたかった。消費者市民社会という大きな枠組みのなかで、専門としている分野についての講義を受けたい。
 ・楽しかったです。
 ・確認テストの送信が、完了したのかどうか、見て分かるようにして欲しかった。
 ・企業×学生交流会のグループディスカッションで意見を交換する時間が短く、あと15分ほど頂けたらより意見交換が出来たように感じました。また、グループディスカッションについて提案なのですが、テーマに対して意見を出せる範囲が、時間に対して少々広いと感じましたので、ディスカッションのテーマの数を減らす、もしくはテーマをもう少し細かく設定することで、何について話すのかが明確に決まり、短い時間でもより良いディスカッションが出来ると感じました。

平成28年度、29年度、30年度、令和元年度、2年度「消費者教育リーダー養成講座」 受講者アンケート集計結果

Q5 消費者教育学生リーダーによる消費者教育普及啓発活動についてどう思いますか？

- H28
- ・学生が活動する点は、良いと思った。学生の中には、何かイベントをしたい、資格が欲しくて来る人も多いので、意図を理解してもらう必要があると思った。
 - ・消費者リーダーにとって自分の意識を高めるチャンスだと思う。
 - ・まだ、あまり経験がないので、今度の企業との交流会やもっと色々な場所で啓発を行なっていきたい。
 - ・もっと消費者教育を世間に知ってもらえるようにしたい。
 - ・すごく良いと思う。
 - ・一人一人が考えないといけない問題だと思うので、活動していくことは大切だと思います。
 - ・普段あまり体験できない活動が出来たので良かったです。
 - ・貴重な体験だった
 - ・良い取り組みだと思う
 - ・講義で得たことの何を啓発するのが分からない。
 - ・参加者が受け入れやすいと思う(権威的でない、楽しさも加えられる)。専門性に欠けることから、誰かと協力しなければならない。協力相手のメリットになれば良いと思う。
 - ・大学生期にこういった活動は最適だと思う
 - ・いろいろなボランティアを自主的に参加し、主催していくことで社会に貢献できるのだと思います。
 - ・これから頑張って広げていきたいと思っています。
 - ・個人として行っていくことも大事だと思いますが、リーダー会として組織化をしっかりしてやっていく必要があると思います。
 - ・大人が教えるよりも同じ立場の人が教えることで親しみも増してとても良いと思う。
 - ・自分のことなのに周囲の人にも影響を与える活動なので、そこは素晴らしいなと思ったし、参加も考えておきたい。
 - ・必要性の高いものだと思う。悪質な商法を減らせると思う。
 - ・消費者の身近には様々な危険があるので、活動で他の人々にも知らせられるのはとても良いと思います。
- H29
- ・消費者教育普及啓発活動というのを聞いたことがなかったので、もっと多く活動していったほうが名前を広げられると思う。
 - ・学生リーダーが活動することで大学内でのネットワークができ、それを越えたネットワークもできると思う。
 - ・消費者教育学生リーダー一期生の人達に話を聞いていると、この活動はとても社会に良い影響を与えていると思いました。
 - ・消費者各自が自分の身を守るようになるためにも、もっとこの活動が広がってほしいと思う。
 - ・消費者教育のことを知らない人はたくさんいると思うから、とてもいいと思う。
 - ・自分たち一人一人が自主的に取り組むものである。
 - ・教える方も教えられる方も、いい体験になると思う。
 - ・自分の成長にもつながる活動ができるので、とても良いと思う。
 - ・良いことだと思いますが、学生もさらには企業の方々も知らないことがあるので、もう少し広められたらいいのかなと思います。
 - ・このような取り組みは大人が学生に対して取り組んでもあまり進まないと思うので、同世代の学生が学生に取り組んだ方が良いと考える。
 - ・消費者教育は必要だと思う。
 - ・大学生等の若い世代の人は、同世代の人から啓発されることで、より身近に感じ、考えられそうで良いと思います！
 - ・企業との関わりをもちながら、自分たちで企画を考えながら活動できるところがいいと思いました。
 - ・インターネットの普及によって、トラブルなどが増え、社会問題になっているので、社会からとても必要とされると思います。
 - ・ここからの社会にとって、必要になると思います。
- H30
- ・リーダーを集めるために、もっと知らせるべきだと思います。興味のある学生はたくさんいると思います。
 - ・自分も活動に参加したいと思った。
 - ・消費者教育学生リーダーが主体となって取り組んでいる活動なので、その活動を推進することを非常に良いと思う。
 - ・日頃、消費者として過ごしているながらも、消費することについて、ここまで深く考え、学んだことがなかったので、啓発すべきだと感じた。
 - ・同じ大学生なのに頑張っている人がいると、刺激を受けました。
 - ・これからの時代を担う若者に対して、消費者教育をすることは、とても大切だと思うから、良い活動だと思う。
 - ・学生の新しい考え方が社会に反映されて良いと思う。
 - ・同世代である人たちがしっかり話しており、自分も深く考えるきっかけとなりました。
 - ・参加する前に思ってたよりも、規模が大きいいろんな企業がかかっているなと思った。
 - ・今後、需要が高くなると思うので良いと思う。
 - ・知っておいておいた方が良い知識ばかりなので、良いと思いました。
 - ・イマイチどういった内容をしているのかわからなかったから、何がどのように良い活動なのかわかりませんでした。
 - ・学生が自分達からこういっていることを考えていることは、今後の社会につながると思うから、とても良い機会だったと思う。
 - ・他の大学生が経験していないことを経験することができるのは良いと思う。
- R1
- ・学生中心にすると効果的だと思う。
 - ・次の若い世代に広げるために大事だと思う。
- R2
- ・環境への配慮やフェアトレードなどSDGSIに基づいた活動で、非常に意義があると思います。
 - ・消費者教育普及啓発活動によって、通販とかのトラブルを回避することができ、被害にあう消費者の減少につながるのでも良いことだと思います。
 - ・大阪府などが支援して活動をすることができるので安心して活動に参加できると思いました
 - ・消費について意識する人が増えたら、今後もっと自然環境が良くなると思う
 - ・非常に良いことだと思います。会社の方や先生方が啓発するのに加えて学生達も啓発活動に参加することは、18歳以下の子供たちに消費活動への関心を持たせやすくすると思います。それが消費者市民社会に繋がると考えます。
 - ・これから(コロナ禍)は、インターネットでの情報発信が必要だと感じた。
 - ・消費者教育啓発活動に限らず、啓発活動全般に言えますが、企業が広告やCM等を使って行う啓発活動と、学生が主体的に行う啓発活動では、相手への響き方が違うと感じており、学生が行う方が、相手の方は興味や関心、応援したいという気持ちを持って聞いてくれる可能性が高いため、相手へ内容が伝わりやすいと感じました。そのため、個人に対しての説明において、学生リーダーはとても大きな意味があると思います。逆に企業が行う啓発活動は多くの人に広く知らせる事ができるのが強みなので、同じ啓発活動においても場面や状況に応じた使い分けが必要だと感じました。

Q9 自由な意見

- H28
- ・消費者リーダー会で自立、独立の大切さ重要さがわかりました。
 - ・時間の割り振りが厳しと感じた。学生リーダーで集まる機会を学生リーダー会を決めていかないといけない。
 - ・短期間の中で消費者教育とは何かを学び、さらに子供達にゴミの問題を教えるイベントが、こんな短期間で出来るとは思わなかった。
 - ・自分はまだまだリーダーではないと思います。
 - ・消費、消費者市民社会について、知識・意識がバラバラ過ぎる！ 内部学習のしくみも必要だと思います。
 - ・まだ、これから大学の方で演劇があるので、しっかり頑張りたいです。
 - ・市のイベントで活動していましたが、今後は学校に行って「みんなに」見ってもらう機会が増えれば良いのではないかと思います。
- H30
- ・今回の講座で学んだ内容を生かして、積極的にボランティア活動に参加したい。
 - ・他大学の人と交流できて良かった。受講前より、自らの消費者としての考え方が変わった。貴重なお話を聞かせて頂き、ありがとうございます。
 - ・イマイチどういった活動をしているのか講義を受けてもわかりませんでした。とついつい話しているのか、何の話だったのか、とついつい意図で作られた資格なのか、とついつい資格なのか、多分話してはくれたのですが、理解できないまま終わりました。という面で活躍する資格なのかを把握できません。結局何の講義だったのでしょうか？
 - ・受けてためになった！という話は、正直に言ってありません。資格としてきたばかりの物だから分かりますが、内容のうすい資格だなという印象を受けました。
 - ・もっと明確にどういう資格なのかを表して欲しいと思います。正直、眠い講義でした。あと、予定はもっと早く出せないでしょうか？大学生もマシな訳ではないので予定をあわせられず困ります。遅いとバイトや他の予定をいれるのもっと早く予定を出して欲しいです。日本ハムのお客様からのクレームに対する改善の仕方には驚き、興味を持ちました。最後の感想の時に、「お客様が神様化している」と言ったこと少い。目的が分かりました。
 - ・毎回、予定を出される日が遅いため、2年の後半にやっと受けることができました。先生からは、11日と18日空けるようにと言われたため、ちゃんと、報連相してほしいなと思った。1ヶ月前に言われたら空けることができるのに、1週間前に言われても無理です。どれだけ調整してと言われても、難しい。バイト先にも迷惑をかけてしまうし、家族にも迷惑をかける。大学生の予定をもう少し考えてほしい。絶対に予定を空けておいて欲しいなら、最初から伝えておくべき。講義に関しては、受けた人から話は聞いていたとおり、つまらなかった。唯一、横田先生のとときだけ、すごく楽しく受けることができました。
- R2
- ・ネットでのオンライン販売やゲームの課金など若者が消費者トラブルに陥りやすいことから、若者に焦点をすぼった啓発運動を展開したい。
 - ・消費者教育のことについて知ることができるので良かったです。
 - ・対面での活動が楽しみです。
 - ・参加できて良かったです。様々な企業や大学から参加しており、普段話すことのないような方々とお話できてよかったです。

平成28年度、29年度、30年度、令和元年度、2年度「消費者教育リーダー養成講座」 受講者アンケート集計結果

- ・家族や友達にエシカルな消費を促せるよう、まずは自分が行動で示す必要があると考えた。
- ・今回の講義を受講して、消費者教育および消費者教育リーダー活動はより多くの学生に知ってもらえることが大切だと感じましたので、可能でしたら出張講義などを行うことで、より多くの学生に消費者教育とその大切さを知ってもらえると考えました。今回は、貴重な講義およびそれに関わる企業との交流会などの時間をくださりありがとうございました。

資料 20

交流会アンケートフォーム（学生用、企業用）

企業×学生交流会（2）事後アンケート 学生用

所属（大学名・学部・学科）・氏名

回答を入力

質問 1) 参加してみてよかったことは？（複数回答可）

- 消費者教育について考えることができた
- 消費者教育の活動に興味を持った
- 消費者教育についての普及啓発活動をしたいと思った
- 企業の思いを知ることができた
- 他大学の学生や企業の方などと知り合い、交友関係が広がった
- 他大学の学生や企業の方と同じチームで活動できた
- その他:

質問 2) 参加してみて不満だったことは？（複数回答可）

- 遠隔ではなく、対面で企業の方と話したかった
- もっと企業の消費者に対する配慮を知りたかった
- 時間が短かった
- テーマが話しにくかった
- 他のテーマについても話したかった
- 進行がスムーズではなかった
- その他:

質問 3) 今後こういった交流会があれば参加したいですか？

- ぜひ参加したい
- 友人を誘って参加したい
- 参加するかもしれない
- 参加しない
- わからない

質問 4) 今回の交流会には満足ですか？

- 大変満足
- 満足
- 普通
- やや不満
- 不満

アンケートにご協力ありがとうございました。

送信

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。不正行為の報告・利用規約・プライバシーポリシー

Google フォーム

資料 2 1

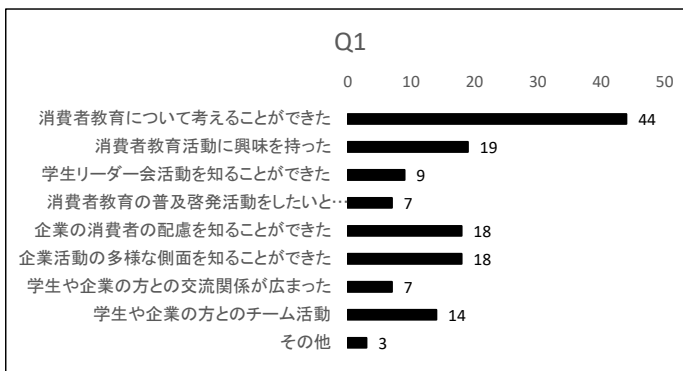
交流会アンケート結果（第 1 回、第 2 回）

令和2年度 企業×学生交流会 参加者アンケート集計結果(学生 1・2回合計)

回答数	61
-----	----

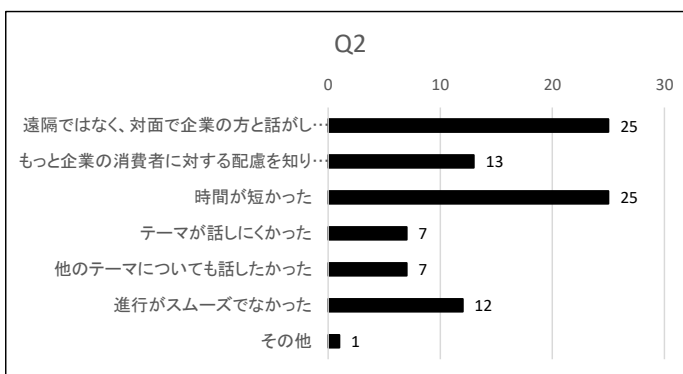
Q1 参加して良かったこと(複数回答可)

1	消費者教育について考えることができた	44	72%
2	消費者教育活動に興味を持った	19	31%
3	学生リーダー会活動を知ることができた	9	15%
4	消費者教育の普及啓発活動をしたと思った	7	11%
5	企業の消費者の配慮を知ることができた	18	30%
6	企業活動の多様な側面を知ることができた	18	30%
7	学生や企業の方との交流関係が広まった	7	11%
8	学生や企業の方とのチーム活動	14	23%
9	その他	3	5%



Q2 参加してみて不満だったことは?(複数回答可)

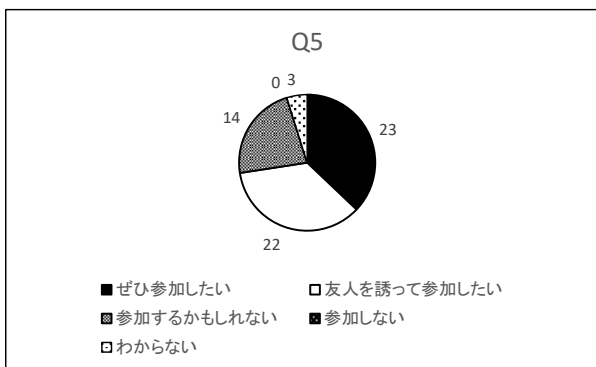
1	遠隔ではなく、対面で企業の方と話しかけた	25	41%
2	もっと企業の消費者に対する配慮を知りたかった	13	21%
3	時間が短かった	25	41%
4	テーマが話しにくかった	7	11%
5	他のテーマについても話したかった	7	11%
6	進行がスムーズでなかった	12	20%
7	その他	1	2%



Q3 今後このような交流会があれば参加したいですか?

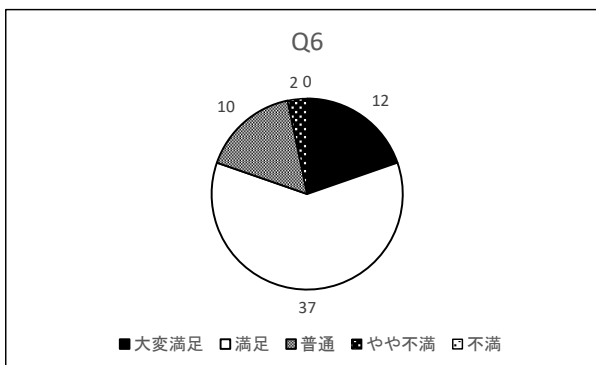
1	ぜひ参加したい	23
2	友人を誘って参加したい	22
3	参加するかもしれない	14
4	参加しない	0
5	わからない	3

- ・指定されている発表形式が適当ではない。
- ・もう少し人数が多いと嬉しかった



Q4 今回の交流会には満足ですか?

1	大変満足	12
2	満足	37
3	普通	10
4	やや不満	2
5	不満	0



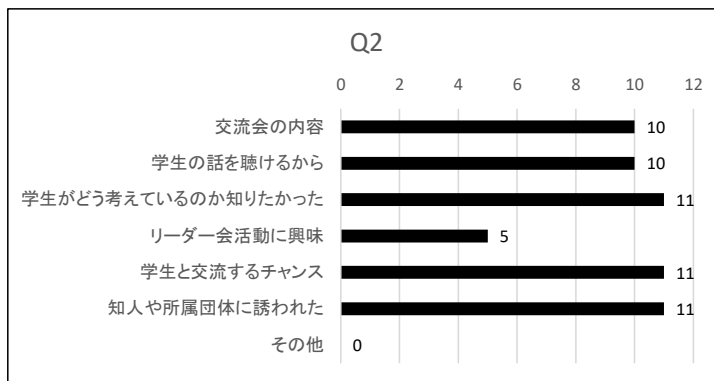
令和2年度 企業×学生交流会 参加者アンケート集計結果(企業 1・2回合計)

回答数	17
-----	----

Q1 参加動機

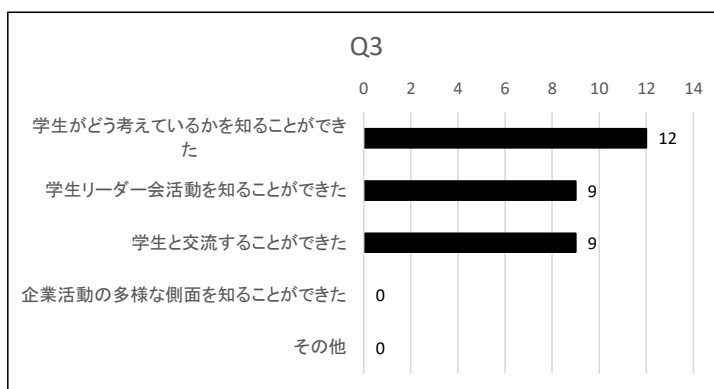
1	交流会の内容	10
2	学生のお話を聴けるから	10
3	学生がどう考えているのか知りたかった	11
4	リーダー会活動に興味	5
5	学生と交流するチャンス	11
6	知人や所属団体に誘われた	11
7	その他	0

・お声掛けいただいたので



Q2 参加して良かったこと

1	学生がどう考えているかを知ることができた	12
2	学生リーダー会活動を知ることができた	9
3	学生と交流することができた	9
4	企業活動の多様な側面を知ることができた	0
5	その他	0



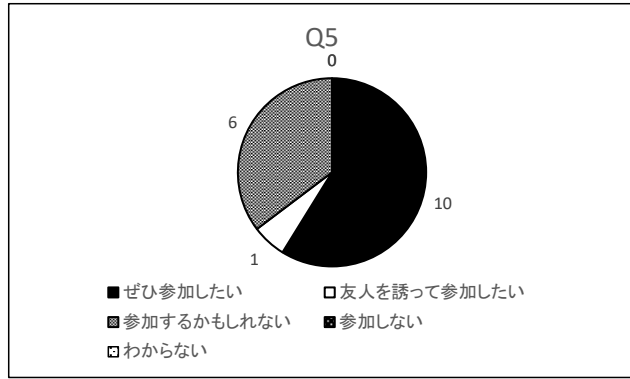
Q3 参加してみて不満だったことは？(具体的に)

- ・このような機会を設け、参加されること自体、素晴らしい。敢えて申し上げれば、グループワークの進行、役割分担が中々決まらなかったことは残念でした。
- ・特にありません。
- ・進行が滞ったり、参加者を待つ時間が長かったように思います。グループワークの時間が短かった。
- ・グループでの役割分担が決まらなかったため、ファシリテーターだけでも予め決めて進行内容を共有した方がいいと思います。
- ・学生の中で役割分担の周知がされていないのか、ファシリテーター、書記などの必要を認識しておらず無言が続き、開始が遅れ十分に意見交換ができなかった。事前に役割を決めておいたほうが良いと思う。また、それぞれのグループに進行の確認やトラブルなどの確認にのぞく役割の人があったほうが良いと思う。グループ分けなども事前連絡して欲しかった。
- ・分散討議の時間もう少し欲しかったです。6人で話を深めるにはせめて40分欲しかったです。
- ・最初プログラムを見た時は、ちょうどいい時間配分だと思っていましたが、実際は結構慌ただしく感じました。
- ・特にありません。私の通信環境の問題で、最初の企業参加者挨拶が出来ずに誠に申し訳ございませんでした。
- ・短い時間内で、一定のまとめをめざす討議を期待するのに対して、テーマの提示の仕方が漠然としすぎている。もっと、具体的にテーマを提示すべき。
- ・当方の環境の問題かもしれませんが、音声、画像が途切れて十分な交流ができませんでした。
- ・正解はないのですが、今日論議した課題に事業者はどう立ち向かっているか？の事例紹介などあれば。情報・認識の共有に終わった面もある。

令和2年度 企業×学生交流会 参加者アンケート集計結果(企業 1・2回合計)

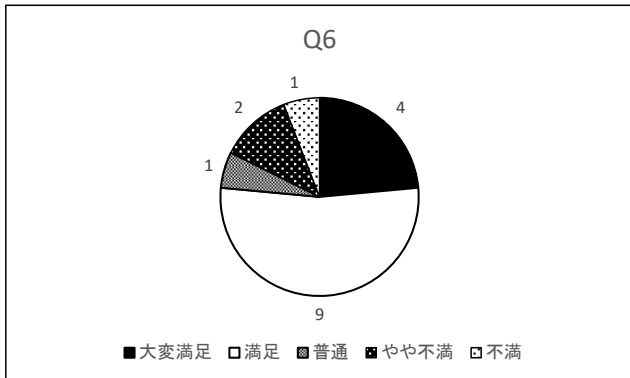
Q4 今後このような交流会があれば参加したいですか？

1 ぜひ参加したい	10
2 友人を誘って参加したい	1
3 参加するかもしれない	6
4 参加しない	0
5 わからない	0



Q5 今回の交流会には満足ですか？

1 大変満足	4
2 満足	9
3 普通	1
4 やや不満	2
5 不満	1



Q6 今回の交流会や消費者教育や学生リーダー会などについて自由なご意見を書いてください。

- ・交流会のテーマやグループワーク、発表の流れなどを把握していない学生がほとんどだったのでもう少し事前にレクチャーが必要なのではないかと思いました。
- ・賢い消費者を育成する上でこの上ない取り組みとします。ご発展を祈念します。
- ・参加された学生の皆さんは消費者の意識をしっかりと持たれていました。
- ・学生さんが、消費者教育を積極的に学んでおられることを知って、参加してよかったと思いました。
- ・zoomの交流に不慣れで、操作についていけない参加者がいる可能性もあります。アクションについては丁寧に、重ねて伝えてもらえるとありがたいです。発表用の書き込みについて、ある程度のフォーマットがあるか、先に書式を見ながらの話し合いの方が、内容に集中でき、書記も入力しながら話し合いに参加できると思いました。
- ・学生の方が意見を述べる機会があるのはとても良いことだと思います。
- ・藤井さんのファシリテーターが良かったです。先生が最後におっしゃっていましたが、だれもが一人の消費者、生活者としてどうするか？を意見交換することに価値があると思います。ウィズコロナの消費生活やこれからの消費社会について、社会に出ようとする学生のリアルな声を聴くことで、大変勉強になりました。大学にも行けない変化を受け入れ、生活の充実や楽しみ、自分の価値観、生き方を定めようとしている姿を感じ、この学生のみなさんが活躍できる社会、ありがたい未来づくりに何か貢献していかないと・・・と思いました。
- ・消費者教育の講師を務めることがありますが、このように直接学生と話し合う機会は本当にありがたいですし、楽しいです。既に取り上げられたかも知れませんが、男子学生はFX、女子学生は出会い系サイトへ誘引され、トラブルになっている事例が本当に多いです。学生と、斡旋に入る現場の人間や企業で苦情対応されている方とのディスカッションは、お互いに現状を知ることが出来、理解も深まると思うのですが。
- ・学生リーダー皆様の仕切りやまとめのレベルの高さに感心致しました。AICE様も含め、事前準備は大変であったことと推察致します。来週も楽しみにしております。
- ・グループワークでは、もろもろの説明が不足していて討議早々、戸惑うばかり。また、各班発表のペクトルもまちまちで、討議した発表に達成感が持てない。短時間のディスカッションですから、もっと、テーマや方向性、回答数、発表時間の厳守などを明確にするべき。
- ・グループワークでは各学生が積極的に自分の役割に取り組んでいるのが印象的であった。第1回の課題を今回では的確に修正いただき有難うございました。
- ・12/5(土)の第1回目をふまえ、趣旨説明などさまざまな工夫をいただいたので、前回よりも運営がとてもよくなり、グループワークもスムーズに行うことができたので大変よかったです。学生のみなさまと・交流することができて良かったです。ありがとうございました。
- ・学生時代にこのような機会を体験できることは、素晴らしい体験になると思います。頑張って継続して下さい。

資料 2 2

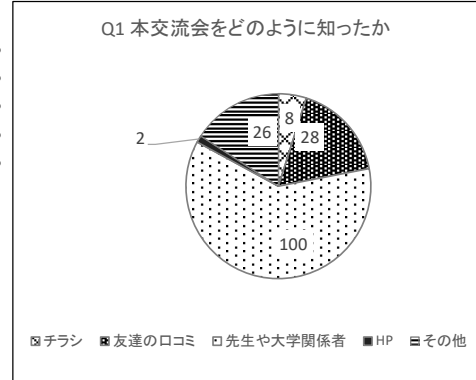
交流会アンケート結果（5年間集計）

平成28年度～令和2年度 5年間企業×学生交流会 参加者アンケート集計結果<学生>

	H28	H29	H30	R1	R2	合計
学生回答数	39	47	24	54	61	225

Q1 本交流会【学生】

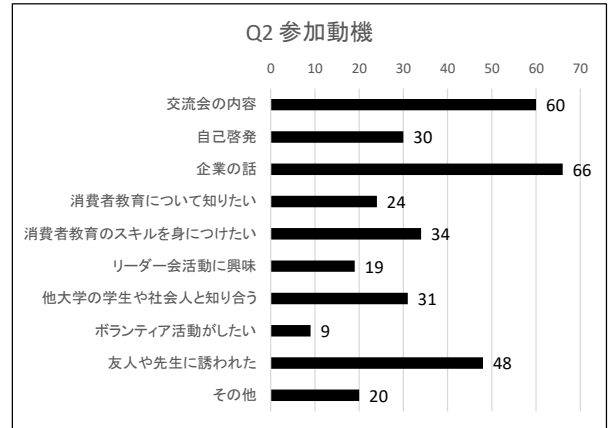
	H28	H29	H30	R1	R2	合計
1 チラシ	1	3	2	2	-	8
2 友達の口コミ	16	4	7	1	-	28
3 先生や大学関係者	12	28	14	46	-	100
4 HP	0	1	0	1	-	2
5 その他	9	11	2	4	-	26



	H28	H29	H30	R1	R2	合計
1 チラシ	3%	6%	8%	4%	-	4%
2 友達の口コミ	41%	9%	29%	2%	-	12%
3 先生や大学関係者	31%	60%	58%	85%	-	44%
4 HP	0%	2%	0%	2%	-	1%
5 その他	23%	23%	8%	7%	-	12%

Q2 参加動機

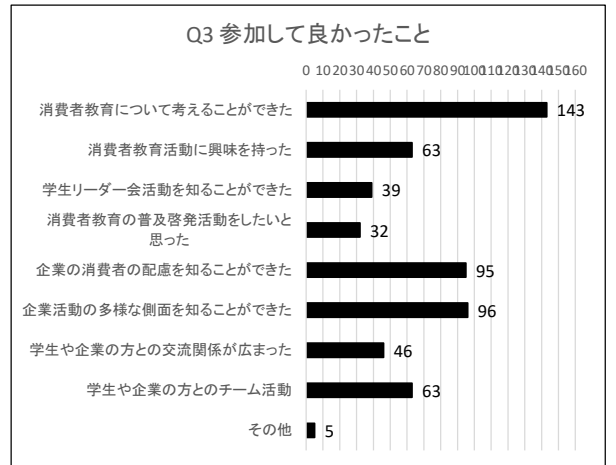
	H28	H29	H30	R1	R2	合計
1 交流会の内容	18	12	10	20	-	60
2 自己啓発	10	8	5	7	-	30
3 企業の話	16	11	11	28	-	66
4 消費者教育について知りたい	5	11	3	5	-	24
5 消費者教育のスキルを身につけたい	13	13	4	4	-	34
6 リーダー会活動に興味	8	6	2	3	-	19
7 他大学の学生や社会人と知り合う	11	9	4	7	-	31
8 ボランティア活動がしたい	2	1	3	3	-	9
9 友人や先生に誘われた	12	11	10	15	-	48
10 その他	3	5	1	11	-	20



	H28	H29	H30	R1	R2	合計
1 交流会の内容	46%	26%	42%	37%	-	27%
2 自己啓発	26%	17%	21%	13%	-	13%
3 企業の話	41%	23%	46%	52%	-	29%
4 消費者教育について知りたい	13%	23%	13%	9%	-	11%
5 消費者教育のスキルを身につけたい	33%	28%	17%	7%	-	15%
6 リーダー会活動に興味	21%	13%	8%	6%	-	8%
7 他大学の学生や社会人と知り合う	28%	19%	17%	13%	-	14%
8 ボランティア活動がしたい	5%	2%	13%	6%	-	4%
9 友人や先生に誘われた	31%	23%	42%	28%	-	21%
10 その他	8%	11%	4%	20%	-	9%

Q3 参加して良かったこと

	H28	H29	H30	R1	R2	合計
1 消費者教育について考えることができた	26	31	13	29	44	143
2 消費者教育活動に興味を持った	11	11	5	17	19	63
3 学生リーダー会活動を知ることができた	11	10	6	6	6	39
4 消費者教育の普及啓発活動をしたと思った	6	10	5	4	7	32
5 企業の消費者の配慮を知ることができた	19	23	11	24	18	95
6 企業活動の多様な側面を知ることができた	23	19	8	28	18	96
7 学生や企業の方との交流関係が広まった	13	11	7	8	7	46
8 学生や企業の方とのチーム活動	10	14	10	15	14	63
9 その他	0	1	0	1	3	5



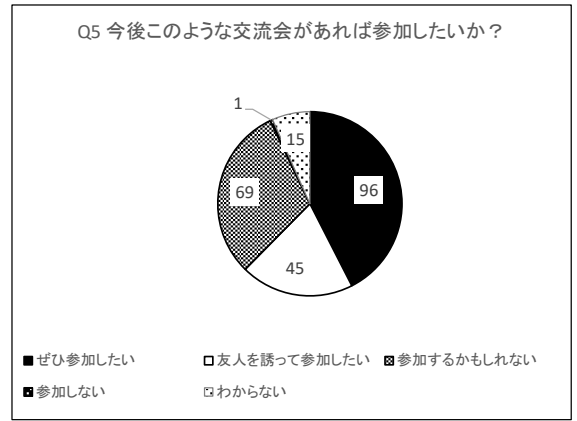
Q3 参加して【学生】

	H28	H29	H30	R1	R2	合計
1 消費者教育について考えることができた	67%	66%	54%	54%	72%	64%
2 消費者教育活動に興味を持った	28%	23%	21%	31%	31%	28%
3 学生リーダー会活動を知ることができた	28%	21%	25%	11%	10%	17%
4 消費者教育の普及啓発活動をしたと思った	15%	21%	21%	7%	11%	14%
5 企業の消費者への配慮を知ることができた	49%	49%	46%	44%	30%	42%
6 企業活動の多様な側面を知ることができた	59%	40%	33%	52%	30%	43%
7 学生や企業の方との交流関係が広まった	33%	23%	29%	15%	11%	20%
8 学生や企業の方とのチーム活動	26%	30%	42%	28%	23%	28%
9 その他	0%	2%	0%	2%	5%	2%

平成28年度～令和2年度 5年間企業×学生交流会 参加者アンケート集計結果<学生>

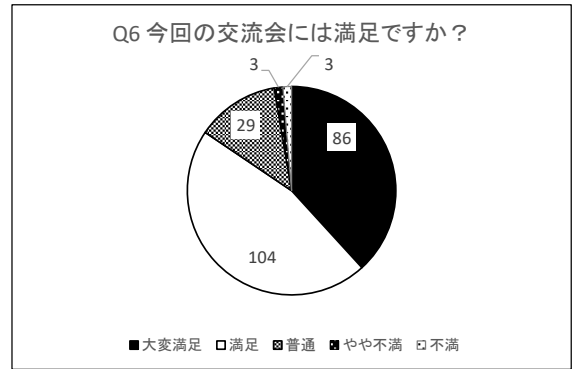
Q5 今後このような交流会があれば参加したいですか？		H28	H29	H30	R1	R2	合計	
1	ぜひ参加したい	28	20	9	16	23	96	43%
2	友人を誘って参加したい	0	9	3	11	22	45	20%
3	参加するかもしれない	9	16	9	21	14	69	31%
4	参加しない	0	0	0	1	0	1	0%
5	わからない	2	2	3	5	3	15	7%

【学生】		H28	H29	H30	R1	R2	合計
ぜひ参加したい		72%	43%	38%	30%	38%	43%
友人を誘って参加したい		0%	19%	13%	20%	36%	20%
参加するかもしれない		23%	34%	38%	39%	23%	31%
参加しない		0%	0%	0%	2%	0%	0%
わからない		5%	4%	13%	9%	5%	7%

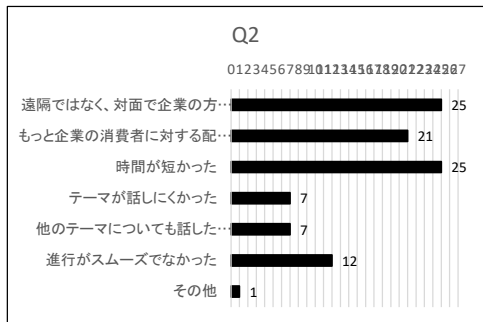


Q6 今回の交流会には満足ですか？		H28	H29	H30	R1	R2	合計	
1	大変満足	21	29	9	15	12	86	38%
2	満足	18	15	5	29	37	104	46%
3	普通	0	3	7	9	10	29	13%
4	やや不満	0	0	1	0	2	3	1%
5	不満	0	0	2	1	0	3	1%

【学生】		H28	H29	H30	R1	R2	合計
大変満足		54%	62%	38%	28%	20%	38%
満足		46%	32%	21%	54%	61%	46%
普通		0%	6%	29%	17%	16%	13%
やや不満		0%	0%	4%	0%	3%	1%
不満		0%	0%	8%	2%	0%	1%



Q2 参加してみて不満だったことは？(複数回答可)		H28	H29	H30	R1	R2	合計
1	遠隔ではなく、対面で企業の方と話したかった					25	41%
2	もっと企業の消費者に対する配慮を知りたかった					21	34%
3	時間が短かった					25	41%
4	テーマが話しにくかった					7	11%
5	他のテーマについても話したかった					7	11%
6	進行がスムーズでなかった					12	20%
7	その他					1	2%



平成28年度～令和2年度 5年間企業×学生交流会 参加者アンケート集計結果<企業等>

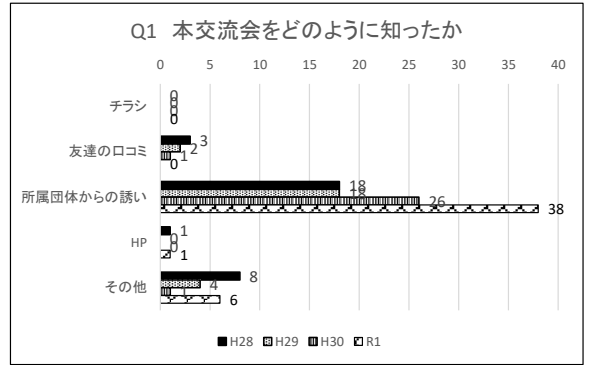
	H28	H29	H30	R1	R2	合計
回答数	29	24	28	44	17	142

Q1 本交流会をどのように知ったか

	H28	H29	H30	R1	R2	合計	
1 チラシ	0	0	0	0	-	0	0%
2 友達の口コミ	3	2	1	0	-	6	4%
3 所属団体からの誘い	18	18	26	38	-	100	70%
4 HP	1	0	0	1	-	2	1%
5 その他	8	4	1	6	-	19	13%

【企業】

	H28	H29	H30	R1	R2	合計
チラシ	0%	0%	0%	0%	-	0%
友達の口コミ	10%	8%	4%	0%	-	4%
所属団体からの誘い	62%	75%	93%	86%	-	70%
HP	3%	0%	0%	2%	-	1%
その他	28%	17%	4%	14%	-	13%

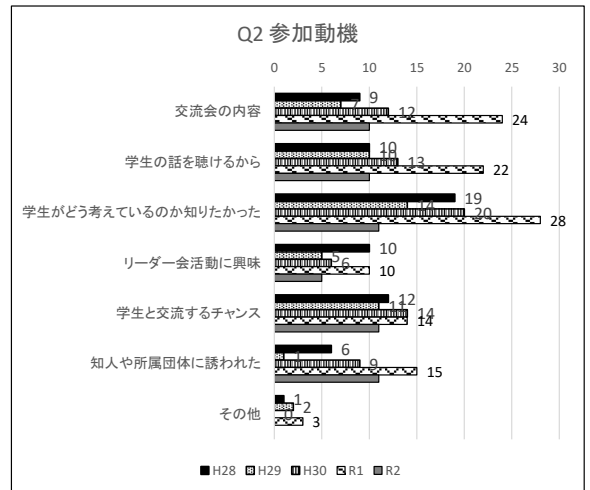


Q2 参加動機

	H28	H29	H30	R1	R2	合計	
1 交流会の内容	9	7	12	24	10	62	44%
2 学生の話聴けるから	10	10	13	22	10	65	46%
3 学生がどう考えているのかわりたかった	19	14	20	28	11	92	65%
4 リーダー会活動に興味	10	5	6	10	5	36	25%
5 学生と交流するチャンス	12	11	14	14	11	62	44%
6 知人や所属団体に誘われた	6	1	9	15	11	42	30%
7 その他	1	2	0	3	0	6	4%

【企業】

	H28	H29	H30	R1	R2	合計
交流会の内容	31%	29%	43%	55%	23%	44%
学生の話聴けるから	34%	42%	46%	50%	23%	46%
学生がどう考えているのかわりたかった	66%	58%	71%	64%	25%	65%
リーダー会活動に興味	34%	21%	21%	23%	11%	25%
学生と交流するチャンス	41%	46%	50%	32%	25%	44%
知人や所属団体に誘われた	21%	4%	32%	34%	25%	30%
その他	3%	8%	0%	7%	0%	4%

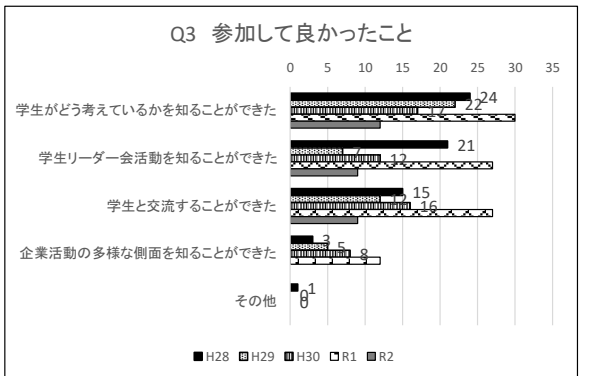


Q3 参加して良かったこと

	H28	H29	H30	R1	R2	合計	
1 学生がどう考えているのかわりたかった	24	22	17	30	12	105	74%
2 学生リーダー会活動を知ることができた	21	7	12	27	9	76	54%
3 学生と交流することができた	15	12	16	27	9	79	56%
4 企業活動の多様な側面を知ることができた	3	5	8	12	0	28	20%
5 その他	1	0	0	0	0	1	1%

【企業】

	H28	H29	H30	R1	R2	合計
学生がどう考えているのかわりたかった	83%	92%	61%	68%	27%	74%
学生リーダー会活動を知ることができた	72%	29%	43%	61%	20%	54%
学生と交流することができた	52%	50%	57%	61%	20%	56%
企業活動の多様な側面を知ることができた	10%	21%	29%	27%	0%	20%
その他	3%	0%	0%	0%	0%	1%

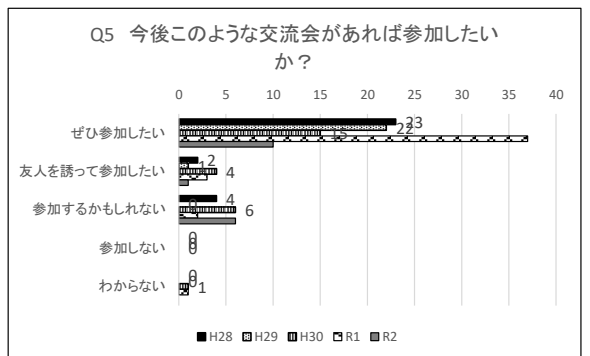


Q5 今後このような交流会があれば参加したいですか？

	H28	H29	H30	R1	R2	合計	
1 ぜひ参加したい	23	22	15	37	10	107	75%
2 友人を誘って参加したい	2	1	4	3	1	11	8%
3 参加するかもしれない	4	0	6	2	6	18	13%
4 参加しない	0	0	0	0	0	0	0%
5 わからない	0	0	1	1	0	2	1%

【企業】

	H28	H29	H30	R1	R2	合計
ぜひ参加したい	79%	92%	54%	84%	23%	75%
友人を誘って参加したい	7%	4%	14%	7%	2%	8%
参加するかもしれない	14%	0%	21%	5%	14%	13%
参加しない	0%	0%	0%	0%	0%	0%
わからない	0%	0%	4%	2%	0%	1%



平成28年度～令和2年度 5年間企業×学生交流会 参加者アンケート集計結果<企業等>

Q6 今回の交流会には満足ですか？

	H28	H29	H30	R1	R2	合計	
1 大変満足	22	15	5	27	4	73	51%
2 満足	6	8	20	16	9	59	42%
3 普通	0	0	1	1	1	3	2%
4 やや不満	0	0	0	0	2	2	1%
5 不満	0	0	0	0	1	1	1%

【企業】

	H28	H29	H30	R1	R2	合計
大変満足	76%	63%	18%	61%	9%	51%
満足	21%	33%	71%	36%	20%	42%
普通	0%	0%	4%	2%	2%	2%
やや不満	0%	0%	0%	0%	5%	1%
不満	0%	0%	0%	0%	2%	1%

